

ハタラクティブ 若者しごとと白書 2025



PRODUCED BY **Leverages**

若者しごと白書 2025

はじめに	3
------	---

01. 就業状況について

1-1. 現在就業している職種	4
1-2. 平均労働日数・時間（フリーター）	6
1-3. 正社員の仕事を退職した理由	7
1-4. 正社員を退職するまでの期間（フリーター）	8
1-5. フリーターになったきっかけ	9
1-6. フリーターを続けている理由	10
1-7. 現在の仕事に就いた理由	11
1-8. 手取り月収の分布（フリーター）	12
1-9. 手取り月収の分布（正社員）	13
1-10. 賃上げの有無と額	15

02. 現在の仕事について

2-1. 仕事のやりがい	16
2-2. 現在の仕事の満足度	17
2-3. 仕事に満足している理由	18
2-4. 仕事に満足していない理由	20
2-5. 仕事で一番大切にしている価値観	22
2-6. 仕事選びで最も重視していること	24
2-7. 仕事選びで重要度が低いもの	25

03. 就職活動・転職活動について

3-1. 現在、就職活動をしているか（フリーター）	26
3-2. 現在、転職活動をしているか（正社員）	27
3-3. 過去に就職活動・転職活動をしたことがあるか	28
3-4. 就職活動・転職活動を始めたきっかけ	29
3-5. 就職・転職を希望するタイミング	30
3-6. 就職先探しの手段・利用サービス	31
3-7. 就職・転職が決まった際に使った手段	33
3-8. 就職活動・転職活動を始めるときの不安度	35
3-9. 就職活動・転職活動における選考中の不安度	37
3-10. 就職活動・転職活動で辞退する要因となるもの	39

若者しごと白書 2025

04. 今後のキャリアについて

4-1. 将来的に正社員を希望するか	…… 40
4-2. いつ頃までに正社員になりたいか	…… 41
4-3. 正社員になりたい理由	…… 42
4-4. 正社員になりたくない理由	…… 44
4-5. 将来的に転職を検討しているか	…… 46
4-6. いつ頃までに転職したいか	…… 46
4-7. 転職したい理由	…… 47
4-8. 転職したくない理由	…… 49

05. 副業状況について

5-1. 現在の副業状況について	…… 50
5-2. 副業の仕事内容	…… 51
5-3. 副業を行う理由	…… 52
5-4. 副業の平均月収	…… 52

06. リスキリングについて

6-1. リスキリングの認知度	…… 53
6-2. リスキリングに取り組んでいるか	…… 54
6-3. リスキリングに取り組む理由	…… 55
6-4. リスキリングに取り組んでいない理由	…… 56
6-5. リスキリングを行って良かったこと	…… 57

07. 選挙について

7-1. 投票に行く頻度	…… 58
7-2. 投票に行く・行かない理由	…… 59
7-3. 政策が自身のキャリアに影響があると思うか	…… 61
7-4. 関心がある政策	…… 62

はじめに

フリーター※・既卒・第二新卒向け就職支援サービス「ハタラクティブ」では、18歳～29歳のフリーターと正社員を対象に、働き方やキャリアに関する調査を行いました。

本レポートでは、フリーター・正社員の就職軸や仕事の価値観、今後のキャリア観などについてまとめています。資料はPDFでダウンロード可能ですので、若年層・非正規雇用・キャリアに関する資料としてぜひご利用いただけますと幸いです。

なお、本調査の調査概要は最終ページをご覧ください。

※本書では、「現在アルバイト・パートとして就労している方」を「フリーター」として定義しています。

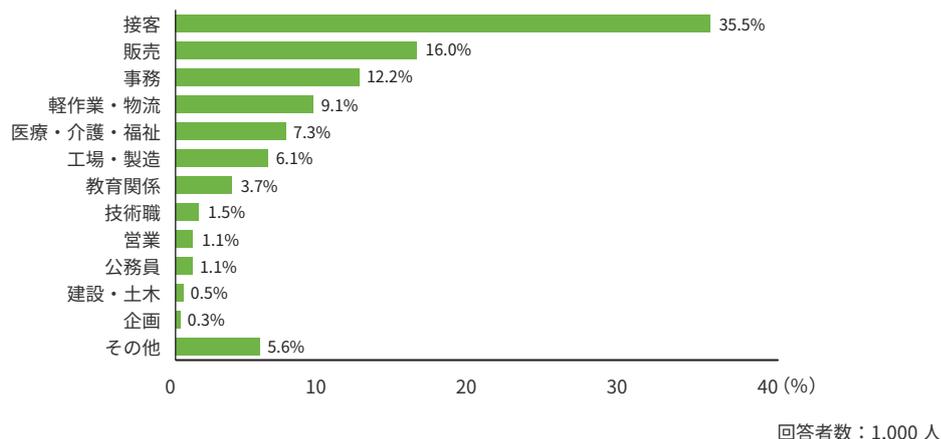
01. 就業状況について

1-1. 現在就業している職種

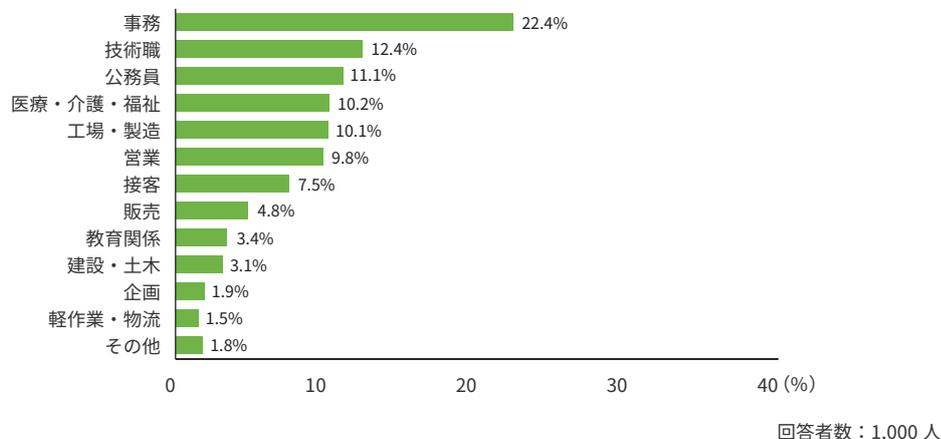
フリーター・正社員の就業中の職種は、フリーターは「接客業」が35.5%を占め、正社員は「事務」が22.4%で最も高い割合を占めています。正社員は、事務に次いで「技術職」「公務員」「医療・介護・福祉」が多く、フリーターに比べると分布がなだらかです。

また、「公務員」「営業」「技術職」「企画」「建設・土木」に従事するフリーターの割合は、正社員と比べて低い結果になっています。

現在就業している職種【フリーター】



現在就業している職種【正社員】



現在就業している職種【雇用形態・男女別】

職種を男女別でみると、フリーターの場合1位は「接客」で男女共に同じ結果となりました。正社員の場合は、男性は「技術職」、女性は「事務」がそれぞれ1位になっています。

「医療・介護・福祉」は男性が就業している職種では上位5位に見られませんが、女性フリーターでは4位、女性正社員では2位に見られ、女性は男性と比較して「医療・介護・福祉」の仕事に就いている割合が高いことが分かります。また、ほかにも女性は「事務」の仕事をしている割合が高くなっています。

現在就業している職種

男性フリーター

1位	接客 (29.9%)
2位	販売 (15.6%)
2位	軽作業・物流 (15.6%)
4位	工場・製造 (9.5%)
5位	事務 (8.1%)

回答者数：211人 ※5位まで抜粋

女性フリーター

1位	接客 (37.0%)
2位	販売 (16.1%)
3位	事務 (13.3%)
4位	医療・介護・福祉 (8.9%)
5位	軽作業・物流 (7.4%)

回答者数：789人 ※5位まで抜粋

男性正社員

1位	技術職 (18.2%)
2位	工場・製造 (13.4%)
2位	公務員 (13.4%)
4位	事務 (12.6%)
5位	営業 (12.2%)

回答者数：500人 ※5位まで抜粋

女性正社員

1位	事務 (32.2%)
2位	医療・介護・福祉 (15.4%)
3位	公務員 (8.8%)
4位	接客 (8.4%)
5位	営業 (7.4%)

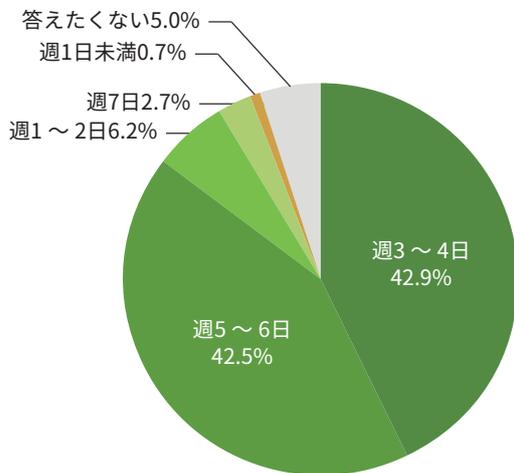
回答者数：500人 ※5位まで抜粋

1-2. 平均労働日数・時間（フリーター）

フリーターの週の平均労働日数は「週3～4日」が最多で、次いで「週5～6日」が多く、合わせると全体の約8割となりました。1日あたりの労働時間は「6～8時間未満」「4～6時間未満」で約7割を占めています。

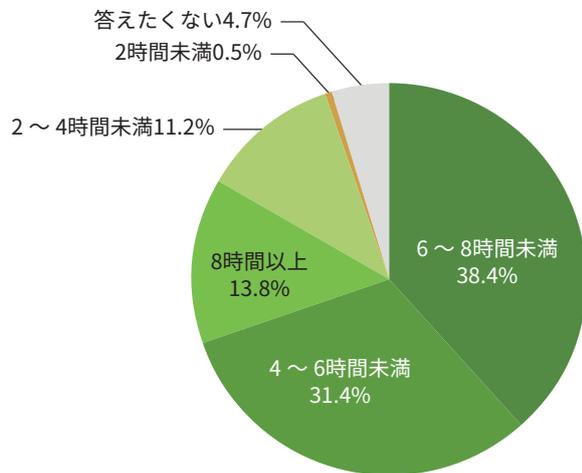
労働日数と労働時間の組み合わせでは「週5～6日×6～8時間未満」の回答が1番多く、次いで「週3～4日×4～6時間未満」「週3～4日×6～8時間未満」の結果となりました。

1週間の平均労働日数【フリーター】



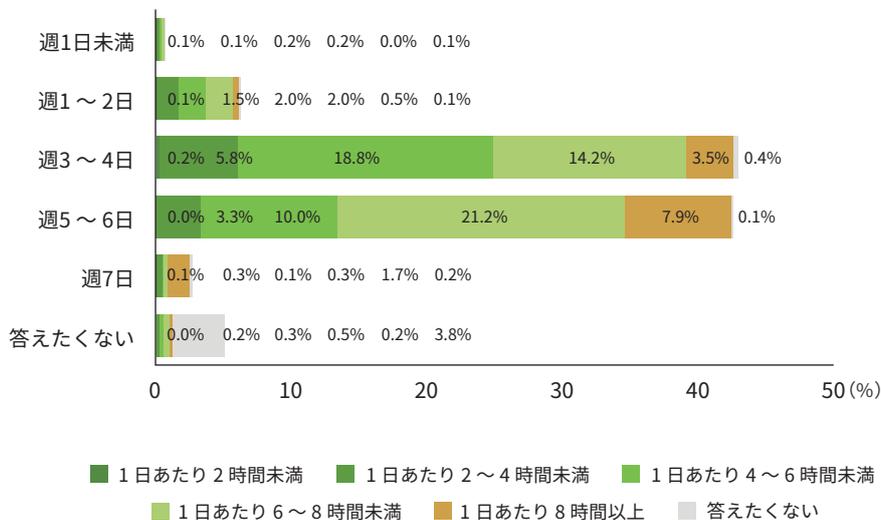
回答者数：1,000人

1日の平均労働時間【フリーター】



回答者数：1,000人

平均労働日数・時間【フリーター】



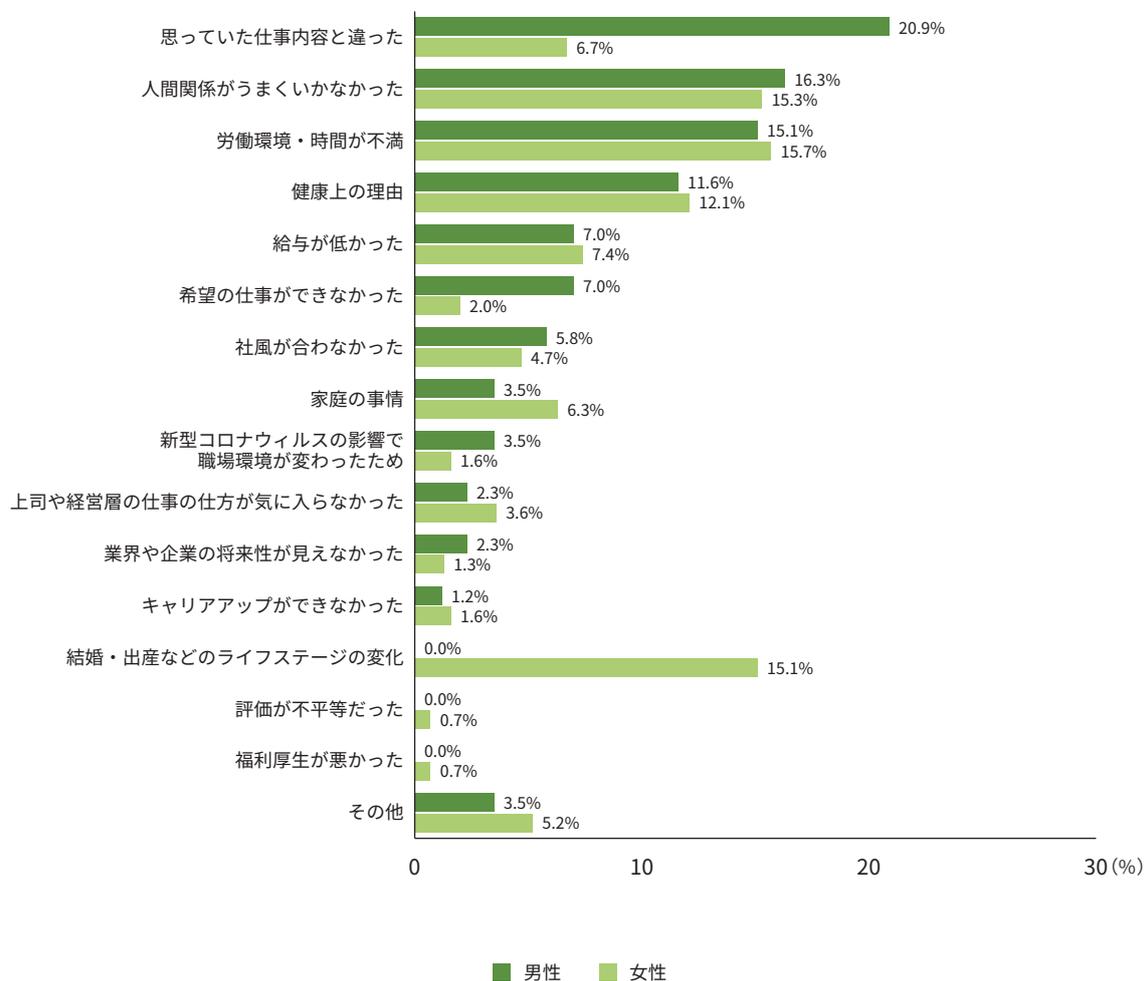
回答者数：1,000人

1-3. 正社員の仕事を退職した理由

正社員経験があるフリーターに、正社員の仕事を退職した理由を尋ねると、男女共に「人間関係」や「労働環境・時間」「健康上の理由」といった回答が多く見られました。「給与が低かった」「社風が合わなかった」も、会社を辞める理由として一定の割合を占めています。

男性は「思っていた仕事内容と違った」を、女性は「結婚・出産などのライフステージの変化」を挙げる方が多く、退職理由には男女差が見られます。

正社員の仕事を退職した理由【男女別】

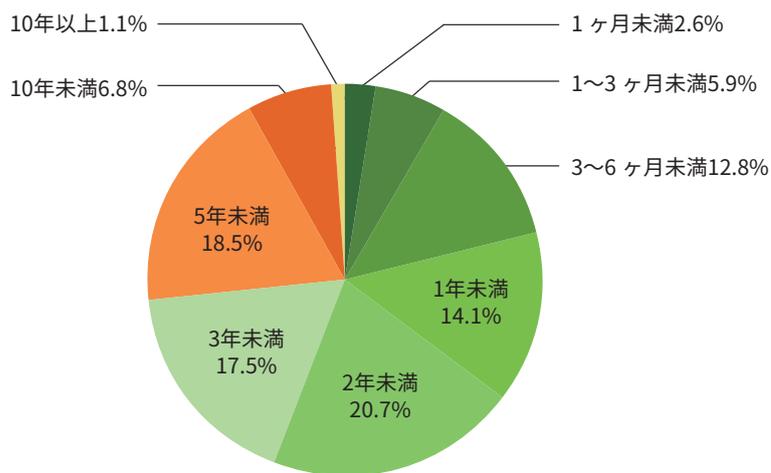


回答者数：男性 86 人、女性 445 人

1-4. 正社員を退職するまでの期間（フリーター）

正社員経験のあるフリーターのうち、およそ5人に1人が正社員に就職してから半年以内に退職しています。また、3年未満で退職するいわゆる「早期離職」が全体の約75%を占めています。

正社員を退職するまでの期間【フリーター】



回答者数：531人

1-5. フリーターになったきっかけ

フリーターになったきっかけとしては、男性・女性共に、「身体的や精神的に正社員で働けないと考えたため」の回答が多く見られました。男性は「特にきっかけはない」を、女性は「身体的や精神的に正社員で働けないと考えたため」を挙げる方が最も多く、男女差があることもうかがえます。

そのほか、男性・女性共に「就きたい仕事のための準備期間や、資格などの勉強のため」といった今後のキャリアをふまえた回答も見受けられました。女性では「ライフイベントの変化があったため」が5位となり、家庭に重きを置くために、勤務日数や勤務時間を柔軟に調整できるアルバイトやパートという働き方を選択する女性は一定数存在します。

フリーターになったきっかけ

男性	女性
1位 特にきっかけはない (25.6%)	1位 身体的や精神的に正社員で働けないと考えたため (17.2%)
2位 身体的や精神的に正社員で働けないと考えたため (14.2%)	2位 正社員として働くのが厳しいと思ったため (16.1%)
3位 就職活動がうまくいかなかったため (11.4%)	3位 特にきっかけはない (14.1%)
4位 就きたい仕事のための準備期間や、資格などの勉強のため (9.5%)	4位 就きたい仕事のための準備期間や、資格などの勉強のため (9.5%)
5位 組織に縛られたくなかったため (8.1%)	5位 ライフイベントの変化があったため (8.2%)
5位 (同率) 正社員として働くのが厳しいと思ったため (8.1%)	

回答者数：211人 ※5位まで抜粋

回答者数：789人 ※5位まで抜粋

1-6. フリーターを続けている理由

フリーターを続けている理由を尋ねると、男性・女性共に「身体的や精神的に正社員で働けないと考えたため」の回答が多く見られました。また「正社員として働くのが厳しいと思ったから」「就きたい仕事のための準備期間や、資格などの勉強のため」「正社員になることに関心がないから」といった回答も男女共通で上位に挙がっています。

また、女性は「ライフイベントを経て、家庭事情を優先するため」が3位にランクインしていることから、「1-5. フリーターになったきっかけ」同様に家庭を優先できる働き方を続けている方が一定数いることがうかがえます。

フリーターを続けている理由

男性	女性
1位 就きたい仕事のための準備期間や、資格などの勉強のため (12.8%)	1位 身体的や精神的に正社員で働けないと考えているため (17.0%)
2位 身体的や精神的に正社員で働けないと考えているため (12.3%)	2位 正社員として働くのが厳しいと思ったから (13.4%)
2位 正社員として働くのが厳しいと思ったから (12.3%)	3位 ライフイベントを経て、家庭事情を優先するため (11.2%)
4位 正社員になることに関心がないから (11.8%)	4位 就きたい仕事のための準備期間や、資格などの勉強のため (9.4%)
5位 就職活動がうまくいかないから (10.9%)	5位 正社員になることに関心がないから (8.7%)

回答者数：211人 ※5位まで抜粋

回答者数：789人 ※5位まで抜粋

1-7. 現在の仕事に就いた理由

現在の仕事に就いた理由は下記の結果になり、フリーター・正社員共に「仕事内容」「勤務地」を重視していることが分かりました。

フリーターはそのほか「労働時間」や「勤務時間」が上位に挙がりました。「1-2. 平均労働日数・時間（フリーター）」で「週5～6日×6～8時間未満」の働き方をしている方が最も多かったことも踏まえると、フリーターは「体力的に無理なく働ける環境」や「自分の優先したいことを優先できる環境」を求めていると推察されます。

「仕事内容」を選んだ割合は、正社員のほうがフリーターよりも9ポイントほど高く、正社員の3人に1人が重視していることが分かりました。正社員はほかにも「収入」や「福利厚生」などを挙げる方が多く、待遇面が仕事選びの決め手になった人が一定数存在するようです。

現在の仕事に就いた理由

フリーター		正社員	
1位	希望する仕事内容だったため (24.4%)	1位	希望する仕事内容だったため (33.7%)
2位	希望の勤務地で働けるため (15.9%)	2位	希望の勤務地で働けるため (13.9%)
3位	残業が少ないなど、希望の労働時間で働けるため (13.4%)	3位	希望する収入が得られるため (9.3%)
4位	理想的な勤務時間（固定勤務制かシフト制など）や休日数だったため (10.5%)	4位	福利厚生が整っているため (7.9%)
5位	希望する収入が得られるため (6.0%)	5位	最初に内定をもらえたため (7.7%)

回答者数：1,000人 ※5位まで抜粋

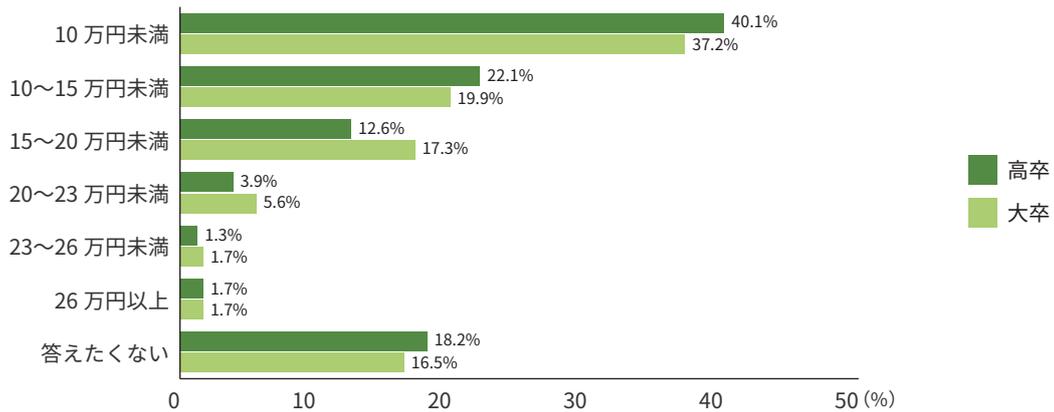
回答者数：1,000人 ※5位まで抜粋

1-8. 手取り月収の分布（フリーター）

フリーターの手取り月収の分布【学歴別】

フリーターの手取り月収は、高卒・大卒どちらも「10万円未満」が一番多いことが分かりました。また、高卒・大卒の手取り月収分布は類似しており、フリーターの場合は学歴による収入差は少ないと言えます。

フリーターの手取り月収の分布【学歴別】

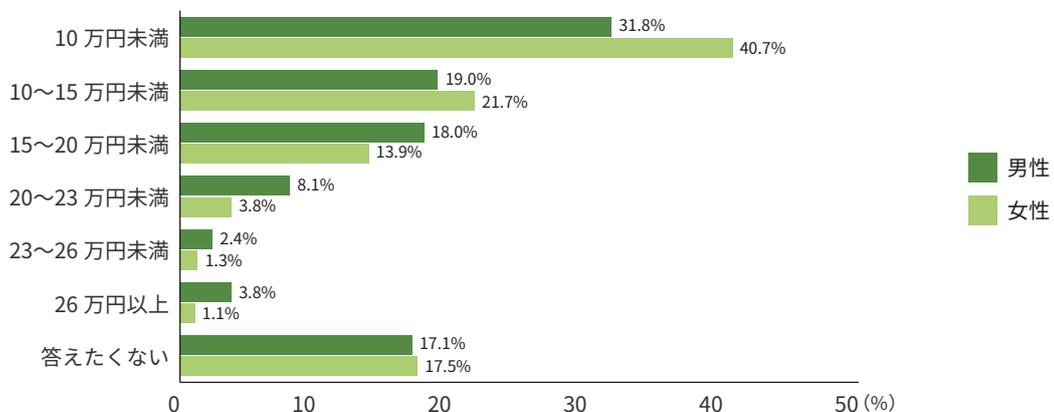


回答者数：高卒 538 人、大卒 462 人

フリーターの手取り月収の分布【男女別】

男女別に分けてみると、男性・女性どちらも「10万円未満」が30%以上を占める結果になりました。男性・女性どちらも「10万円未満」に次いで「10～15万円未満」「15～20万円未満」を挙げる方が多く、フリーターの場合は男女による収入差は少ないことがうかがえます。

フリーターの手取り月収の分布【男女別】

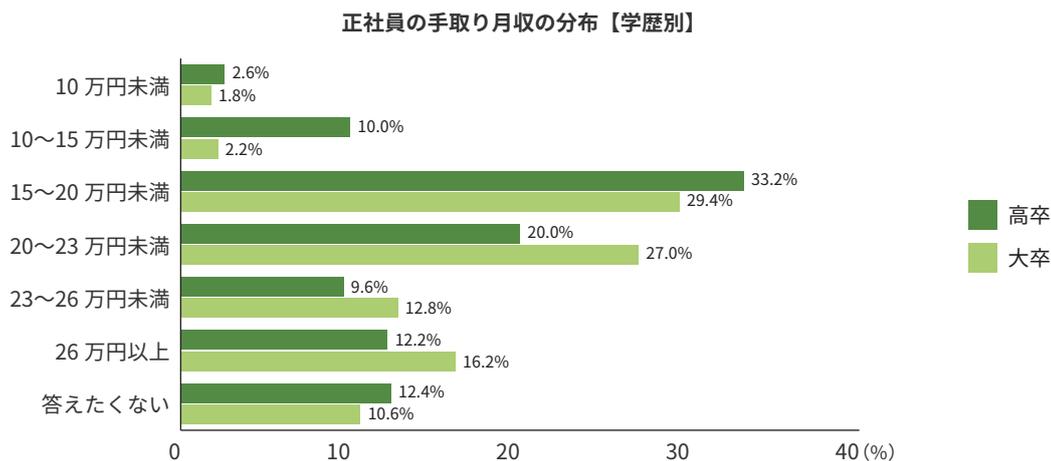


回答者数：男性 211 人、女性 789 人

1-9. 手取り月収の分布（正社員）

正社員の手取り月収の分布【学歴別】

正社員の手取り月収は、「1-8. 手取り月収の分布（フリーター）」で掲載したフリーターの額を上回り、「15～20万円未満」が最多となりました。学歴別で比較すると、正社員の中でも給与水準は大卒のほうが高くなっています。

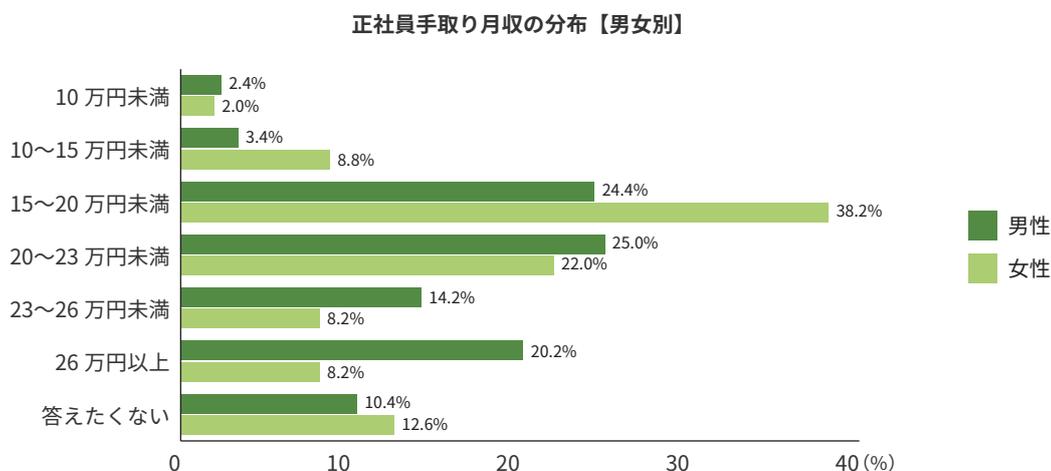


回答者数：高卒 500 人、大卒 500 人

正社員手取り月収の分布【男女別】

正社員の手取り月収を男女別に見ると、男性正社員は「20～23万円未満」が最多、女性正社員は「15～20万円未満」が4割近くを占め最多となり、男女間で違いがあることがわかります。

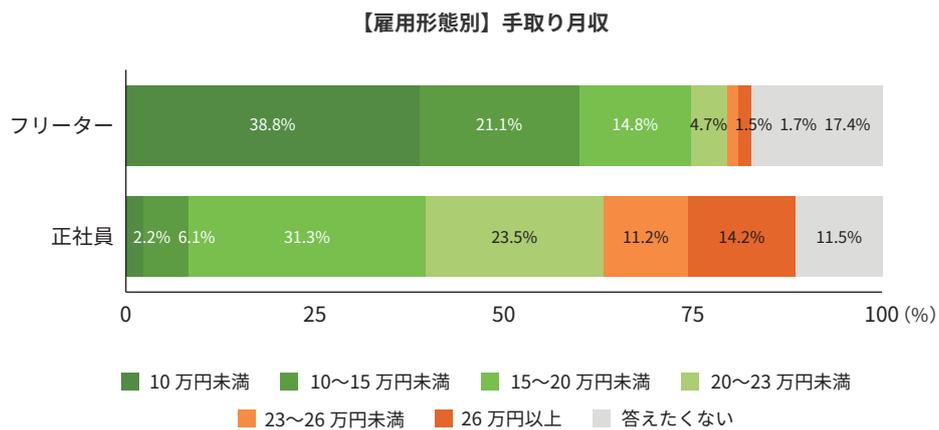
手取り月収が26万円以上の割合も、男性正社員は女性正社員より10ポイント以上高く、手取り月収には男女差があると言えます。



回答者数：男性 500 人、女性 500 人

雇用形態別手取り月収の分布

手取り月収を雇用形態別に見ると、フリーターは「10万円未満」の割合が最も多く、正社員では「15～20万円未満」が最多となりました。この収入差は雇用形態による基本給、労働時間の違い、昇給制度の有無などが要因として考えられます。



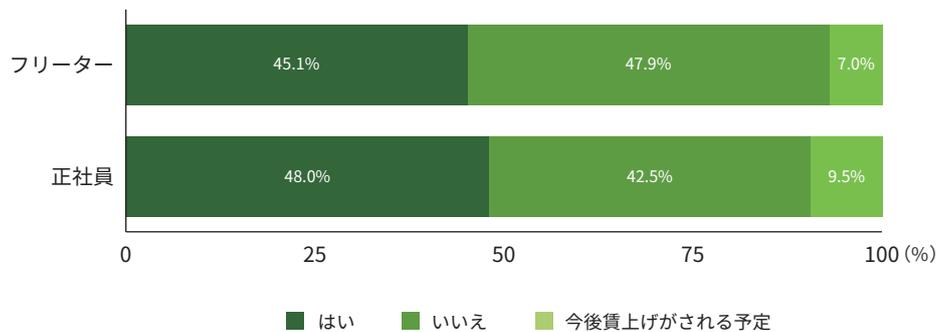
回答者数：フリーター 1,000人、正社員 1,000人

1-10. 賃上げの有無と額

現在の職場で賃上げがあったかを聞くと、フリーター・正社員共に、半数近くの人が現在の職場で賃上げがあったと回答しており、フリーター・正社員間では賃上げの実施割合に大きな差は見られませんでした。フリーターは2024年度に実施された最低賃金の引上げ、正社員は働き方改革における賃上げが影響していることが考えられます。

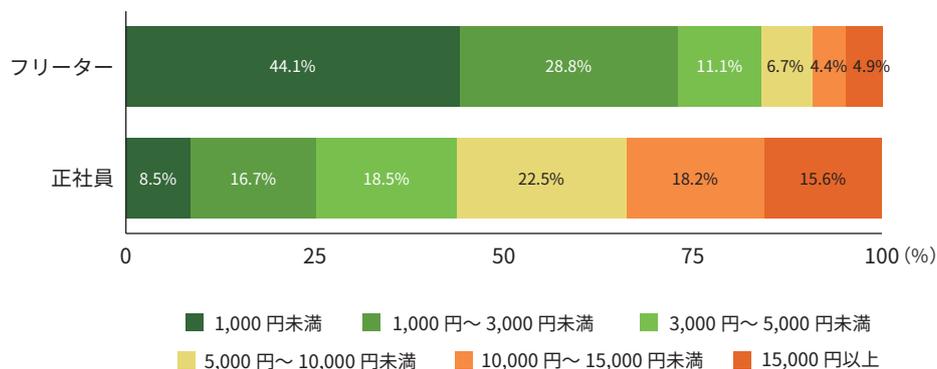
一方、賃上げの金額については大きな差がありました。1,000円未満と回答した割合がフリーターは4割で最多だったのに対して、正社員は8.5%と1割未満にとどまりました。正社員の半数以上が月に5,000円以上の賃上げがあったと回答していることから、正社員のほうが大幅に月収が上がっていることが分かります。

現在の職場で賃上げはあったか【雇用形態別】



回答者数：フリーター 1,000 人、正社員 1,000 人

賃上げの金額（月額）【雇用形態別】



回答者数：フリーター 451 人、正社員 480 人

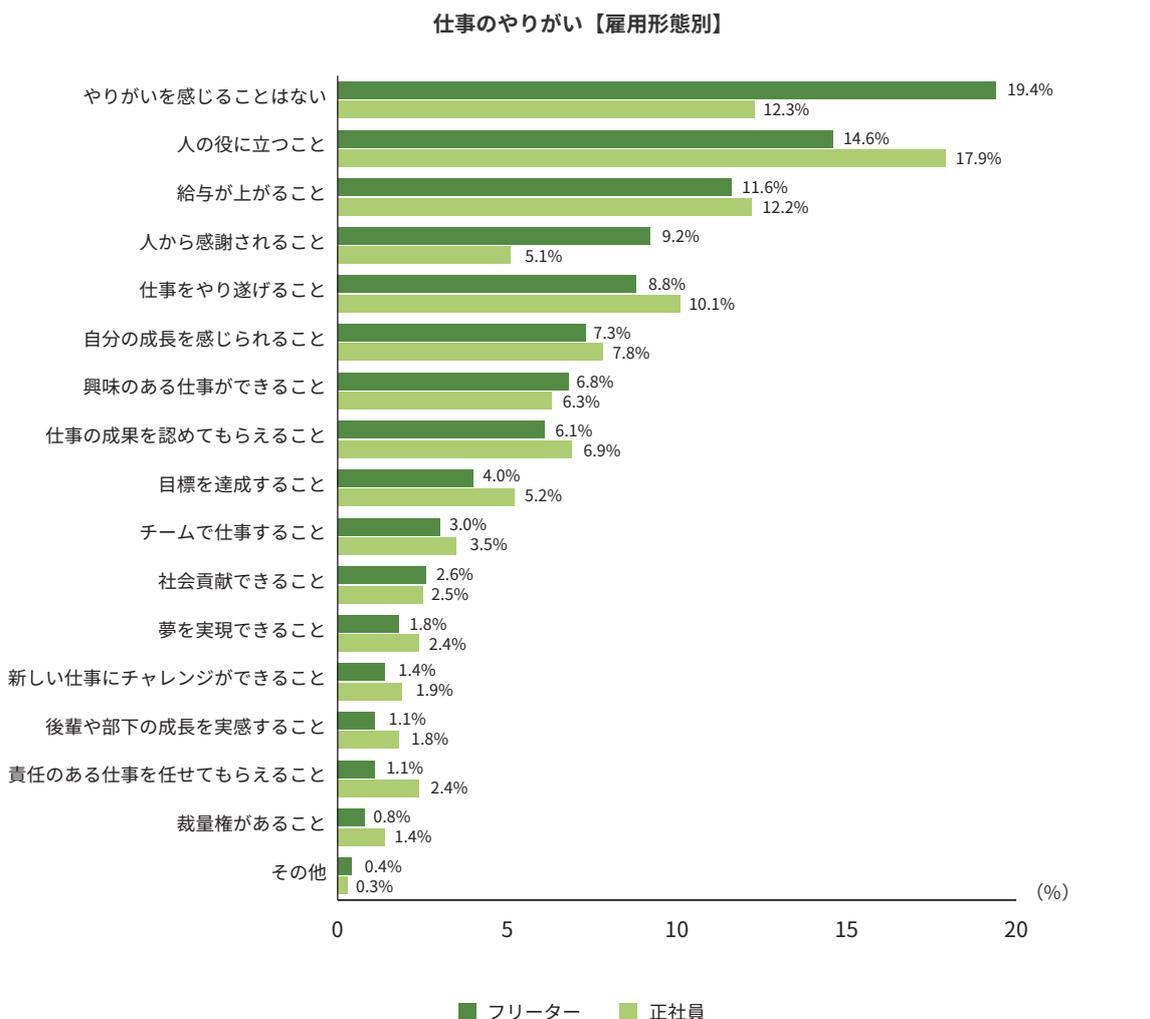
02. 現在の仕事について

2-1. 仕事のやりがい

仕事で一番やりがいを感じることはなにかの質問に対して、フリーターは「やりがいを感じることはない」という回答が最多、2位が「人の役に立つこと」となりました。

一方、正社員は「人の役に立つこと」が最も多く、次いで2位の「やりがいを感じることはない」と3位の「給与が上がること」がほぼ同数でランクインとなっています。

フリーターと正社員で「やりがいを感じることはない」の回答には7.1ポイントの差が見られ、全項目で一番ギャップの大きい回答となりました。

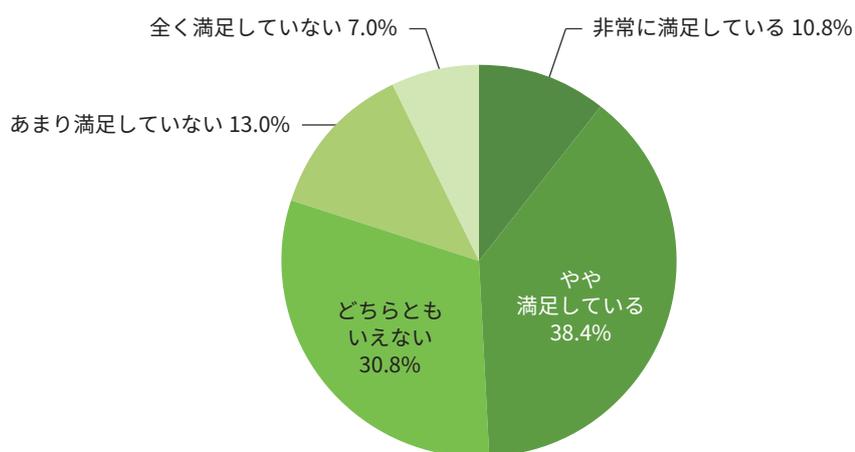


回答者数：フリーター1,000人、正社員1,000人

2-2. 現在の仕事の満足度

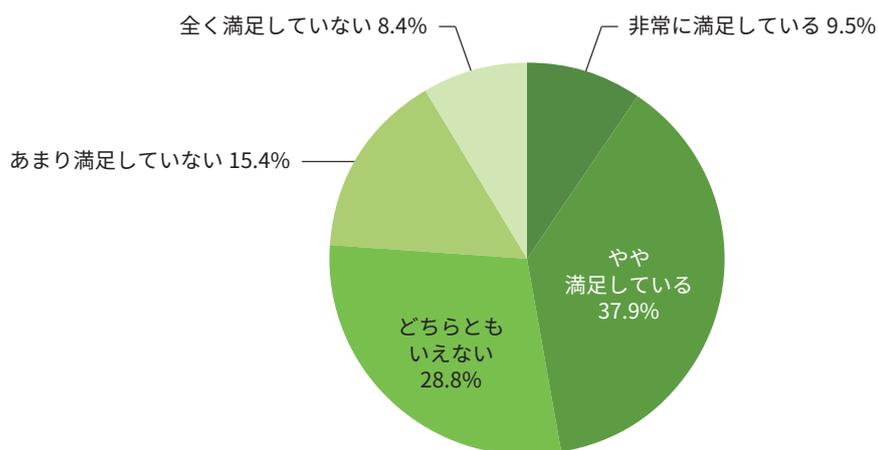
現在の仕事に「非常に満足している」「やや満足している」と回答した人は、フリーター・正社員共に、5割近くを占める結果に。しかし「あまり満足していない」「全く満足していない」と回答した人の割合は、正社員のほうがフリーターよりやや高い傾向が見られ、合わせて3.8ポイントの差がみられました。

現在の仕事の満足度【フリーター】



回答者数：1,000人

現在の仕事の満足度【正社員】



回答者数：1,000人

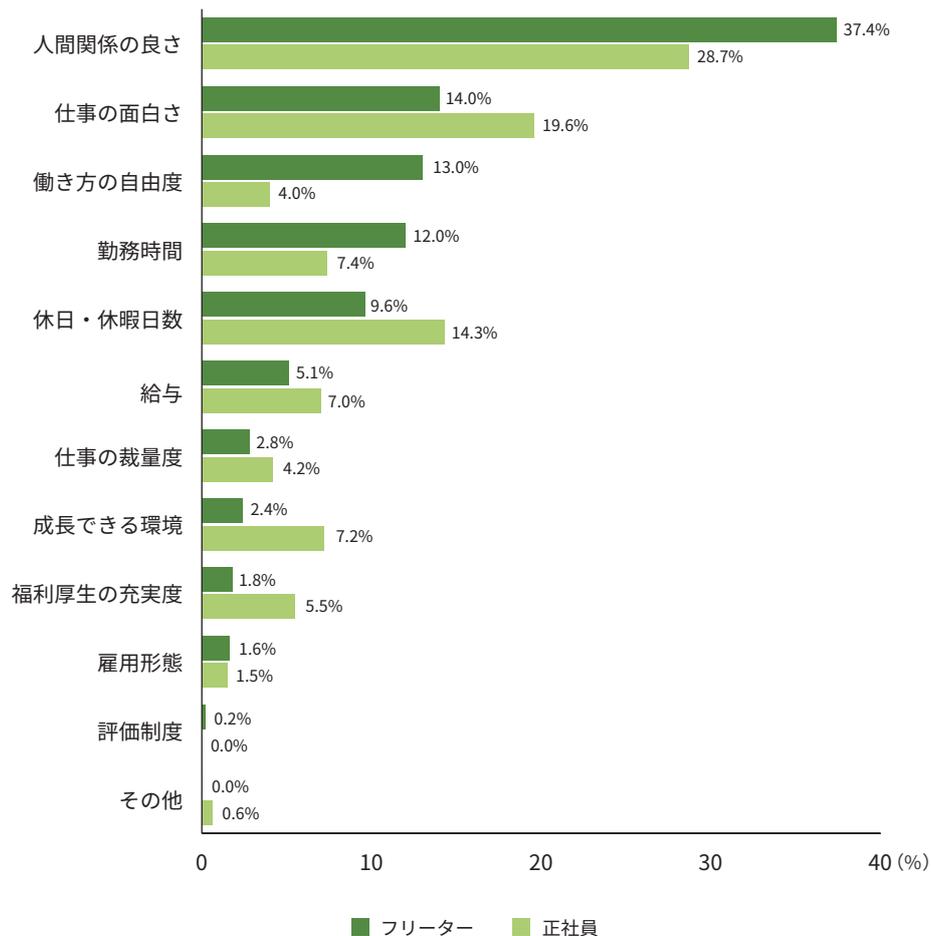
2-3. 仕事に満足している理由

現在の仕事に「非常に満足している」「やや満足している」と回答したフリーターと正社員に対し、その理由を尋ねたところ、フリーター・正社員共に「人間関係の良さ」が最も多く挙げられました。フリーターでは37.4%が「人間関係の良さ」を理由に挙げ、正社員の28.7%に対して約9ポイントの差がついています。

また、フリーター・正社員共に2番目に多い回答は「仕事の面白さ」であり、フリーターでは14.0%、正社員では19.6%という結果になりました。自身の仕事に対する興味・やりがい、仕事への満足度に繋がっていると考えられます。

一方、フリーターでは「働き方の自由度」や「勤務時間」が2位に次いで多く挙げられており、自身の働き方に対する柔軟性を重視していることが示唆されます。

仕事に満足している理由【雇用形態別】



回答者数：フリーター 492 人、正社員 474 人

仕事に満足している理由【雇用形態・男女別】

男性フリーター・女性フリーター共に、仕事に満足している理由の1位は「人間関係の良さ」で、共通して4割近くを占める結果でした。男性フリーターの2位は「仕事の面白さ」で、女性フリーターの2位には「働き方の自由度」が挙がっています。

男性正社員・女性正社員も同様に「人間関係の良さ」が1位で、3割近くを占める結果でした。2位は男女共に「仕事の面白さ」で、特に男性正社員では「人間関係の良さ」とあまり大きな差をつけることなくランクインしています。雇用形態や性別にかかわらず「人間関係の良さ」は仕事への満足度に大きく影響しているようです。

また、フリーターの女性は「働き方の自由度」を重視する傾向がある一方、正社員は男女共に「仕事の面白さ」を重視している傾向がうかがえます。

仕事に満足している理由

男性フリーター

- 1位 人間関係の良さ (38.9%)
- 2位 仕事の面白さ (15.8%)
- 3位 休日・休暇日数 (11.6%)
- 3位 勤務時間 (11.6%)
- 5位 働き方の自由度 (9.5%)

回答者数：95人 ※5位まで抜粋

女性フリーター

- 1位 人間関係の良さ (37.0%)
- 2位 働き方の自由度 (13.9%)
- 3位 仕事の面白さ (13.6%)
- 4位 勤務時間 (12.1%)
- 5位 休日・休暇日数 (9.1%)

回答者数：397人 ※5位まで抜粋

男性正社員

- 1位 人間関係の良さ (27.5%)
- 2位 仕事の面白さ (23.3%)
- 3位 休日・休暇日数 (15.7%)
- 4位 勤務時間 (8.1%)
- 5位 給与 (7.2%)

回答者数：236人 ※5位まで抜粋

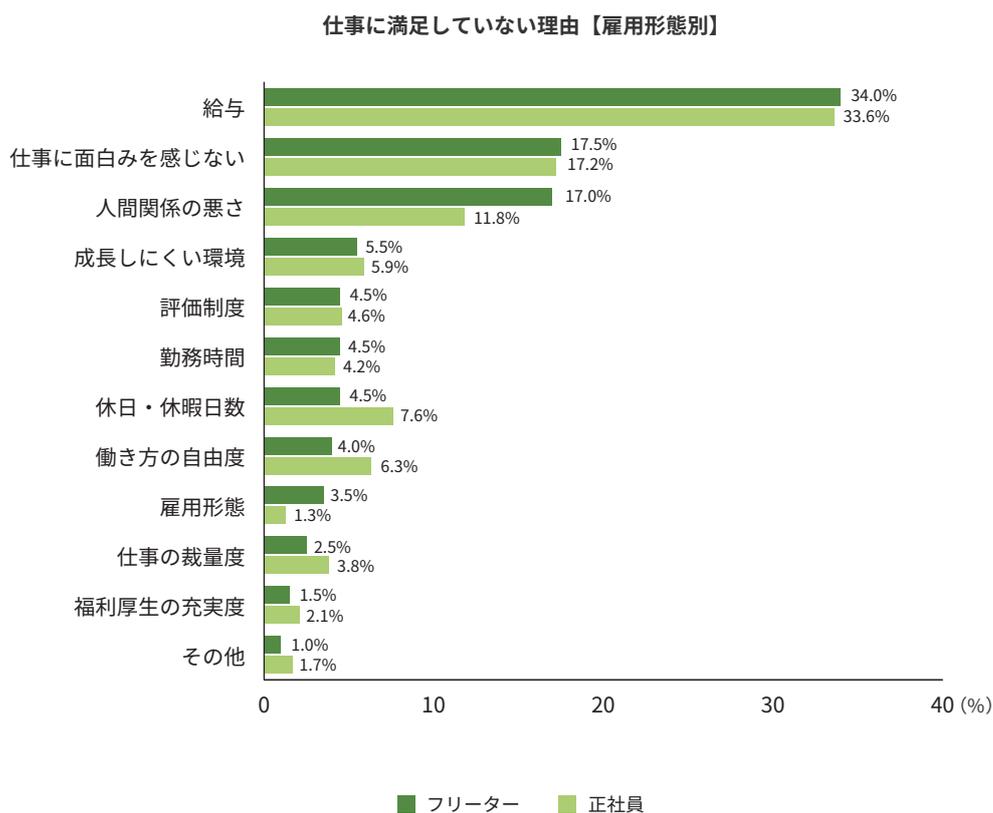
女性正社員

- 1位 人間関係の良さ (29.8%)
- 2位 仕事の面白さ (16.0%)
- 3位 休日・休暇日数 (13.0%)
- 4位 成長できる環境 (8.4%)
- 5位 福利厚生の実度 (7.1%)

回答者数：238人 ※5位まで抜粋

2-4. 仕事に満足していない理由

「2-2. 現在の仕事の満足度」で仕事に「全く満足していない」「あまり満足していない」と回答した人に対してその理由を尋ねると、フリーターも正社員も「給与」に対して不満に感じていると回答する人が最多でした。次いで「仕事に面白みを感じない」が2位となり、仕事に対する成果ややりがいの不足が仕事に満足していない要因となっているようです。



回答者数：フリーター 200 人、正社員 238 人

仕事に満足していない理由【雇用形態・男女別】

雇用形態別、男女別に分けた全てのグループに共通して、「給与」は3割以上の方が仕事への満足度に大きく影響しているようです。「給与」と「仕事に面白みを感じない」を合わせると、いずれのグループでも仕事に満足していない理由の半数近くを占めています。

仕事に満足していない理由

男性フリーター

- 1位 給与 (34.9%)
- 2位 仕事に面白みを感じない (16.3%)
- 3位 勤務時間 (11.6%)
- 3位 休日・休暇日数 (11.6%)
- 5位 人間関係の悪さ (9.3%)

回答者数：43人 ※5位まで抜粋

女性フリーター

- 1位 給与 (33.8%)
- 2位 人間関係の悪さ (19.1%)
- 3位 仕事に面白みを感じない (17.8%)
- 4位 成長しにくい環境 (7.0%)
- 5位 働き方の自由度 (5.1%)

回答者数：157人 ※5位まで抜粋

男性正社員

- 1位 給与 (33.3%)
- 2位 仕事に面白みを感じない (14.9%)
- 3位 人間関係の悪さ (10.5%)
- 4位 休日・休暇日数 (8.8%)
- 5位 成長しにくい環境 (7.9%)

回答者数：114人 ※5位まで抜粋

女性正社員

- 1位 給与 (33.9%)
- 2位 仕事に面白みを感じない (19.4%)
- 3位 人間関係の悪さ (12.9%)
- 4位 休日・休暇日数 (6.5%)
- 5位 働き方の自由度 (5.6%)

回答者数：124人 ※5位まで抜粋

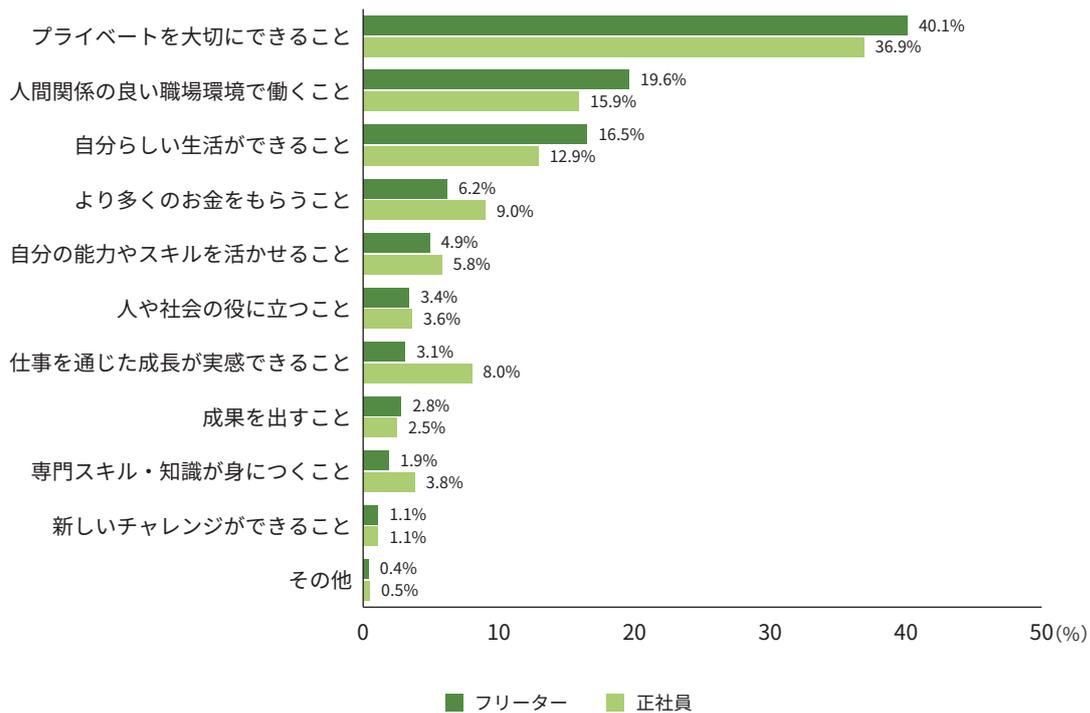
2-5. 仕事で一番大切にしている価値観

仕事で一番大切にしている価値観について、フリーター・正社員どちらも「プライベートを大切にできること」が最多となりました。また、それぞれ2位は「人間関係の良い職場環境で働くこと」、3位が「自分らしい生活ができること」で同様の傾向です。

4位以降を見てみると、正社員では「より多くのお金をもらうこと」や「仕事を通じた成長が実感できること」、「専門スキル・知識が身につくこと」といった、収入やスキルアップに関する項目の割合が高くなっています。

以上より、フリーターも正社員も仕事におけるプライベートの充実や人間関係、自分らしさを重視しており、正社員は加えて、収入や成長といった仕事内容への意識も高いことがうかがえます。

仕事で一番大切にしている価値観【雇用形態別】



回答者数：フリーター 1,000 人、正社員 1,000 人

仕事で一番大切にしている価値観【雇用形態・男女別】

雇用形態・男女別でわけても同様の結果で、「プライベートを大切にできること」を最も重視する人が多いことが分かります。特に女性は男性よりもこの傾向が強いと言えるでしょう。

「仕事を通じた成長が実感できること」について、フリーターの上位5項目には入っていませんが、正社員では男女共に5位以内にランクインしています。このことから、正社員はフリーターと比較して仕事における自己成長への意識が高いことが考えられます。

仕事で一番大切にしている価値観

男性フリーター		女性フリーター	
1位	プライベートを大切にできること (33.2%)	1位	プライベートを大切にできること (42.0%)
2位	自分らしい生活ができること (18.5%)	2位	人間関係の良い職場環境で働くこと (20.3%)
3位	人間関係の良い職場環境で働くこと (17.1%)	3位	自分らしい生活ができること (16.0%)
4位	自分の能力やスキルを活かせること (8.1%)	4位	より多くのお金をもらうこと (6.0%)
5位	より多くのお金をもらうこと (7.1%)	5位	自分の能力やスキルを活かせること (4.1%)
回答者数：211人 ※5位まで抜粋		回答者数：789人 ※5位まで抜粋	
男性正社員		女性正社員	
1位	プライベートを大切にできること (33.0%)	1位	プライベートを大切にできること (40.8%)
2位	人間関係の良い職場環境で働くこと (14.2%)	2位	人間関係の良い職場環境で働くこと (17.6%)
3位	自分らしい生活ができること (12.6%)	3位	自分らしい生活ができること (13.2%)
4位	より多くのお金をもらうこと (11.4%)	4位	仕事を通じた成長が実感できること (7.2%)
5位	仕事を通じた成長が実感できること (8.8%)	5位	より多くのお金をもらうこと (6.6%)
回答者数：500人 ※5位まで抜粋		回答者数：500人 ※5位まで抜粋	

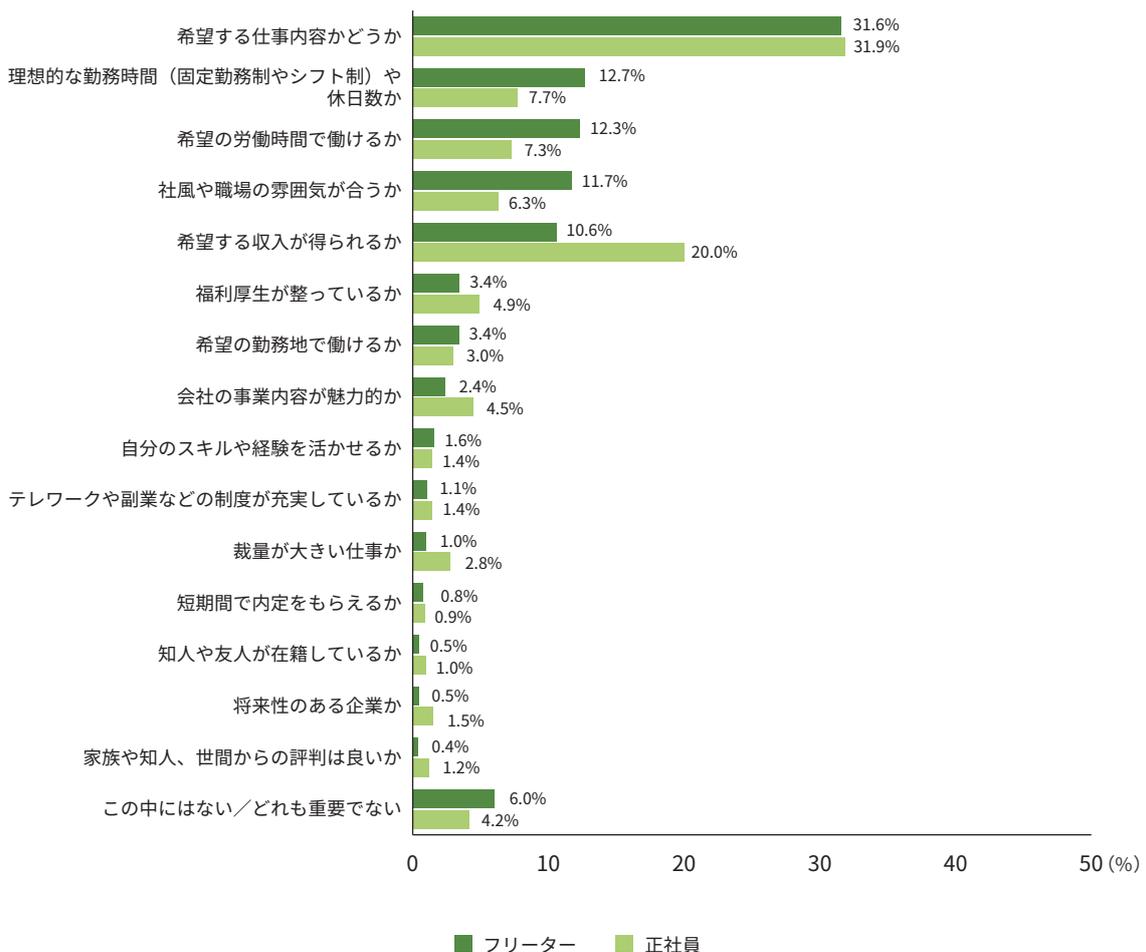
2-6. 仕事選びで最も重視していること

仕事選びで最も重視していることは、「1-7. 現在の仕事に就いた理由」とほぼ変わらない結果で「希望する仕事内容かどうか」が1位となりました。

しかし、2位以降はフリーターと正社員で重視するポイントが大きく異なります。フリーターは「理想的な勤務時間（固定勤務制やシフト制）や休日数か」「希望の労働時間で働けるか」といった、勤務時間や働き方に関する項目を重視する傾向があります。一方、正社員は「希望する収入が得られるか」を2番目に重視しており、フリーターとは対照的な結果となりました。

そのほかにも「社風や職場の雰囲気が合うか」はフリーターが11.7%に対し、正社員は6.3%、「福利厚生が整っているか」はフリーターが3.4%に対し、正社員は4.9%と、全体的にフリーターは時間や働き方を重視する傾向があり、正社員は収入や待遇面を重視する傾向があることが見て取れます。

仕事選びで最も重視していること【雇用形態別】



回答者数：フリーター 1,000 人、正社員 1,000 人

2-7. 仕事選びで重要度が低いもの

仕事選びで重要度が低いものは、「知人や友人が在籍しているか」がフリーター・正社員共に1位となりました。

全体的には、わずかながら優先順位の差はあるものの、フリーター・正社員共に同様の傾向が見られました。1位のほかに重要度が低い項目として共通して挙げられたのは「テレワークや副業などの制度が充実しているか」「短期間で内定をもらえるか」「裁量が大きい仕事か」です。これらは、仕事内容や待遇と比較して重視されない傾向があると言えるでしょう。

仕事選びで重要度が低いもの

フリーター		正社員	
1位	知人や友人が在籍しているか (30.5%)	1位	知人や友人が在籍しているか (28.3%)
2位	テレワークや副業などの制度が充実しているか (9.8%)	2位	短期間で内定をもらえるか (9.7%)
3位	短期間で内定をもらえるか (9.3%)	3位	テレワークや副業などの制度が充実しているか (9.3%)
4位	将来性のある企業か (6.2%)	4位	裁量が大きい仕事か (6.9%)
5位	裁量が大きい仕事か (6.0%)	5位	家族や知人、世間からの評判は良いか (6.0%)

回答者数：1,000人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

回答者数：1,000人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

03. 就職活動・転職活動について

3-1. 現在、就職活動をしているか（フリーター）

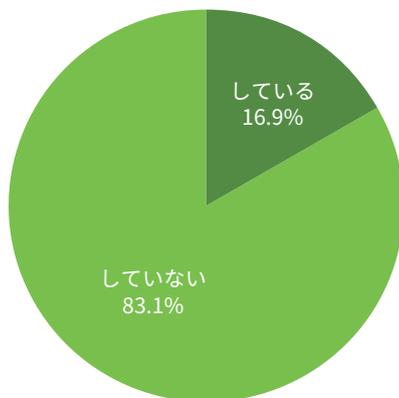
フリーターに対し、現在就職活動をしているか尋ねると、8割以上が「していない」と回答しました。

男女別に昨年度の調査*と比較すると、就職活動をしているフリーターの割合は、男性が30.0%から23.2%に減少、女性は15.9%から15.2%に減少しています。減少幅は男性が6.8ポイント、女性が0.7ポイントです。なおどちらの年度も、女性より男性のほうが就職活動をしている割合が高い傾向がありました。

*2024年2月発表「若者しごと白書2024」（<https://hataractive.jp/partner/whitepaper/youthwork2024/>）

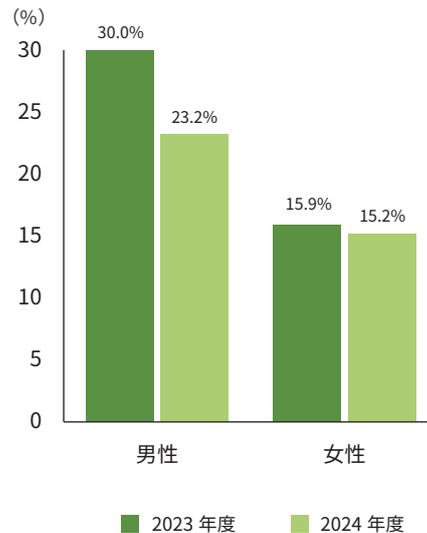
就職活動をしている割合

現在、就職活動をしているか【フリーター】



回答者数：1,000人

就職活動をしている割合【フリーター】



回答者数：2023年度 男性 210人、女性 790人
2024年度 男性 211人、女性 789人

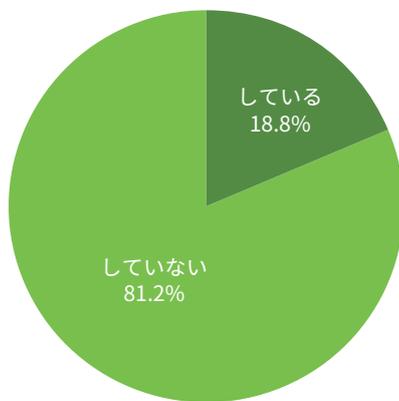
3-2. 現在、転職活動をしているか（正社員）

正社員に現在転職活動をしているかを尋ねたところ、「している」と回答したのは全体の18.8%でした。「3-1. 現在、就職活動をしているか（フリーター）」の回答と比較すると、フリーターが就職活動している割合よりも、正社員が転職活動している割合が1.9ポイント多い結果となりました。このことから、正社員の転職意向とフリーターの現状維持志向が見て取れます。

男女別に昨年度の調査※と比較すると、転職活動中の割合は男性が21.4%から20.4%と1ポイント減少、女性が21.4%から17.2%と4.2ポイント減少しました。

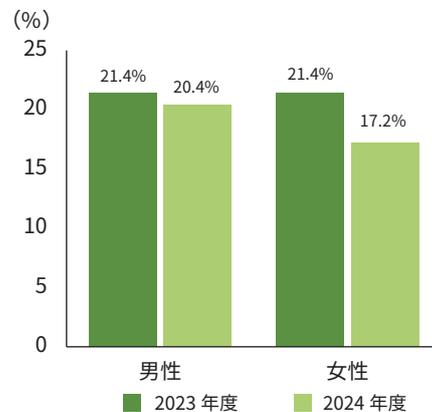
※2024年2月発表「若者しごと白書2024」（<https://hataractive.jp/partner/whitepaper/youthwork2024/>）

現在、転職活動をしているか【正社員】



回答者数：1,000人

転職活動をしている割合【正社員】



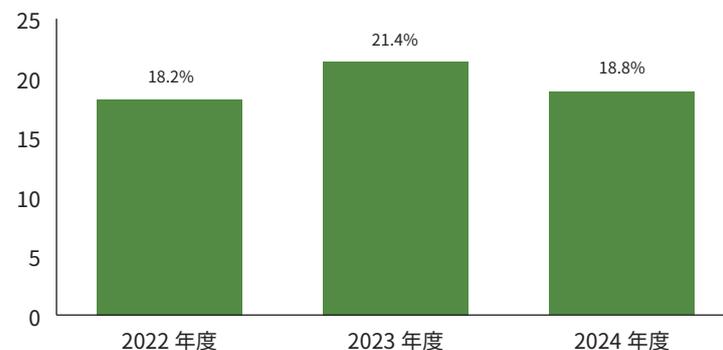
回答者数：2023年度 男性 500人、女性 500人
2024年度 男性 500人、女性 500人

過去3年間の転職活動率【正社員】

正社員で転職活動をしている割合を過去3年で比較すると、2022年度の18.2%から2023年度には21.4%に上昇しましたが、2024年度には18.8%に減少しています。

2023年度の一時的な上昇は見られるものの、過去3年間で比較すると、ほぼ横ばいで推移していることが分かります。

転職活動をしている割合【正社員】

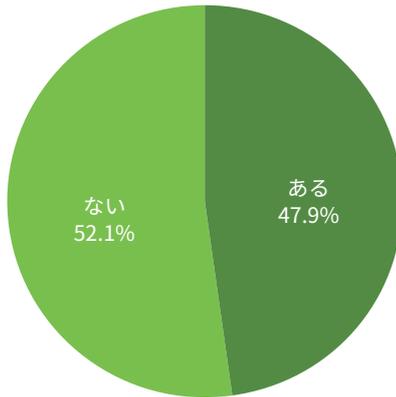


回答者数：2022年度・2023年度・2024年度 各 1,000人

3-3. 過去に就職活動・転職活動をしたことがあるか

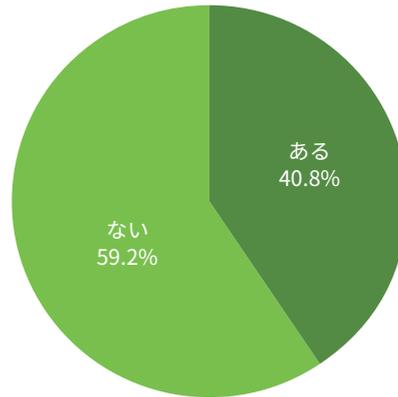
現在就職・転職活動をしていない人に対し、過去に活動経験があるか尋ねると、フリーターは「ある」が約半数、正社員は「ある」が約4割となっています。

過去に就職活動をしたことがあるか【フリーター】



回答者数：831人

過去に転職活動をしたことがあるか【正社員】

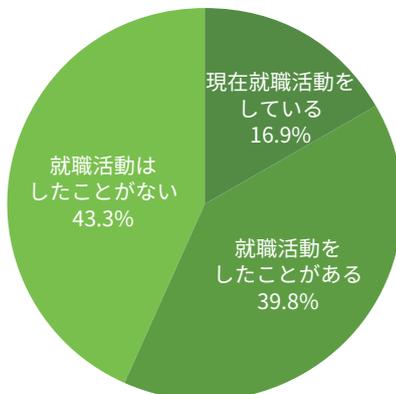


回答者数：812人

就職活動・転職活動の経験がある割合

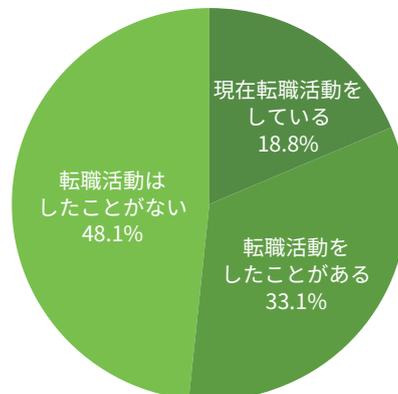
「3-1. 現在、就職活動をしているか（フリーター）」「3-2. 現在、転職活動をしているか（正社員）」の結果と合わせると、フリーターは56.7%が就職活動の経験があり、正社員は51.9%が転職活動をした経験があるようです。フリーターも正社員も、約2人に1人が就職活動あるいは転職活動の経験があることが分かりました。

就職活動経験はあるか【フリーター】



回答者数：1,000人

転職活動経験はあるか【正社員】



回答者数：1,000人

3-4. 就職活動・転職活動を始めたきっかけ

フリーターが就職活動を始めたきっかけは「金銭的な不自由・不安」の回答が最多、正社員が転職活動を始めたきっかけは「給与が低い」の回答が最多でした。どちらも金銭面での不満や不安が1位を占めました。

2位以降はフリーターと正社員で異なり、フリーターは「正社員のほうが雇用が安定しているから」と雇用の安定性を求める回答が目立つ一方、正社員は「やりがい・達成感がない」と、現在の仕事内容への不満を理由に挙げる人が多く見られました。

就職活動・転職活動を始めたきっかけ

フリーター	正社員
1位 金銭的な不自由・不安 (52.4%)	1位 給与が低い (43.4%)
2位 正社員のほうが雇用が安定しているから (20.6%)	2位 やりがい・達成感がない (25.6%)
3位 自分の興味・関心の変化 (17.8%)	3位 人間関係が悪い (22.2%)
3位 やりがいのある仕事をしたいため (17.8%)	4位 残業や休日出勤が多い (15.2%)
5位 もともと正社員になりたかったが、一時的にフリーターとして働いていただけ (15.7%)	5位 企業や業界の将来性が不安 (12.9%)

回答者数：567人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

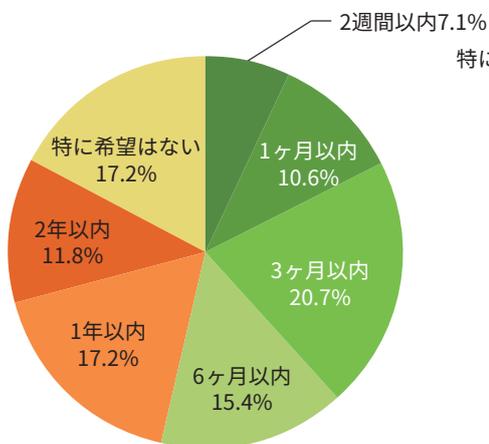
回答者数：519人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

3-5. 就職・転職を希望するタイミング

現在、就職活動や転職活動をしている人の就職・転職を希望するタイミングは、フリーターと正社員で違いが見られました。

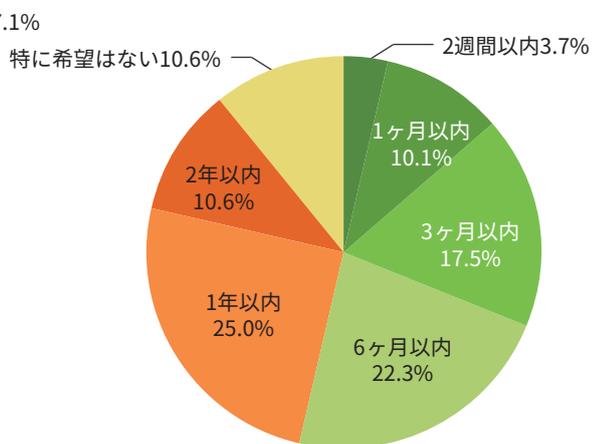
フリーターの場合、3ヶ月以内に就職を希望する割合が一番多く、半数以上のフリーターが半年以内の就職を望んでいます。一方正社員の場合、1年以内に転職を望んでいる人が25.0%と最多に。就職・転職を希望するタイミングには違いがあることが分かります。

就職を希望する時期【フリーター】



回答者数：169人

転職を希望する時期【正社員】



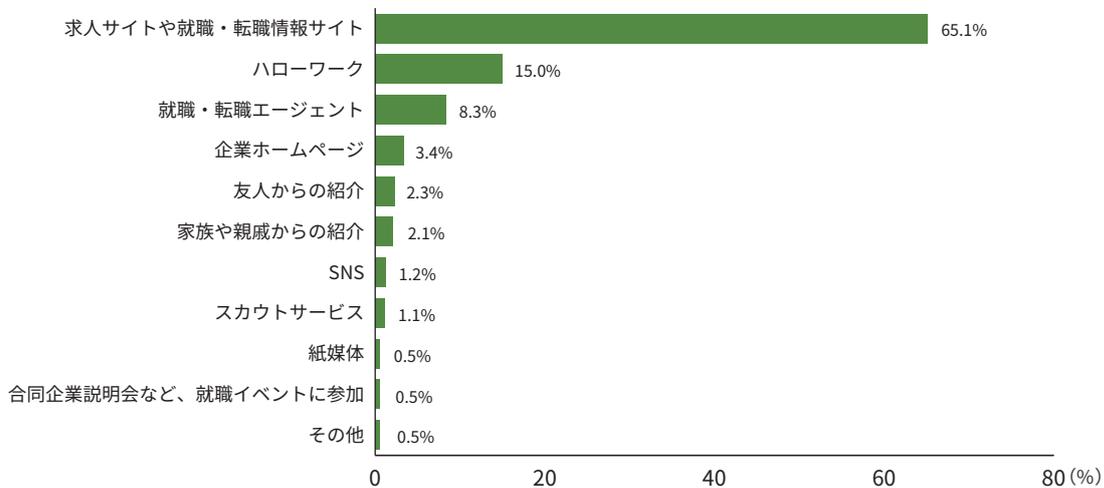
回答者数：188人

3-6. 就職先探し的手段・利用サービス

就職活動・転職活動における就職先探し的手段・利用サービスについては、フリーターも正社員も「求人サイトや就職・転職情報サイト」が最多となりました。正社員は2位に「就職・転職エージェント」が挙げられ20.0%となっている一方で、フリーターは2位に「ハローワーク」がランクインし、「就職・転職エージェント」は8.3%と1割未満でした。

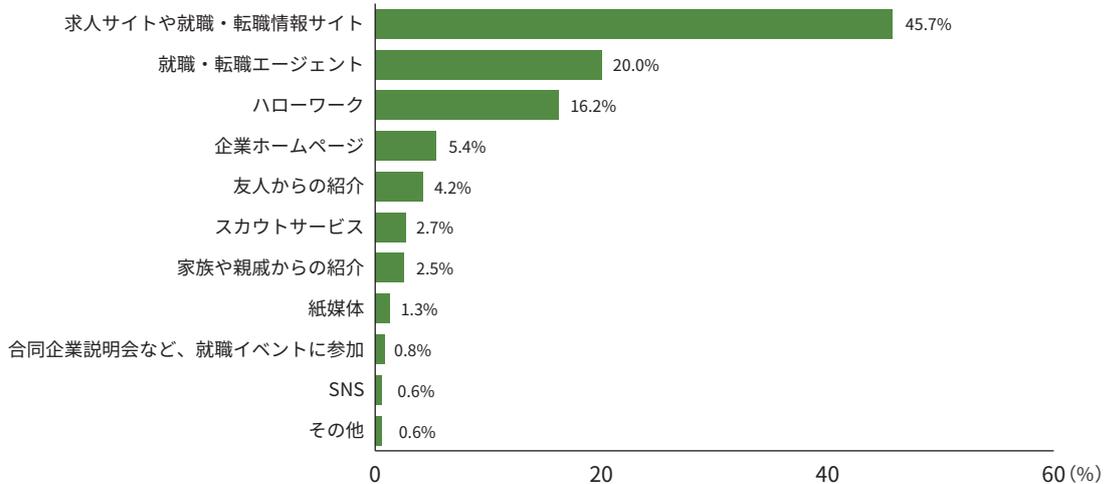
これは、正社員向けの転職エージェントに比べてフリーターを対象とする就職エージェントが少なく、就職時に手段として想起されにくいことが理由と考えられます。

就職先探し的手段で最も利用したサービス【フリーター】



回答者数：567人

就職先探し的手段で最も利用したサービス【正社員】



回答者数：519人

就職先探し的手段・利用サービス

さらに学歴別で見ると、利用しているサービスはいずれも「求人サイトや就職・転職情報サイト」が最多に。2位以下は、高卒はフリーター・正社員問わずハローワークの利用度が高いことが分かりました。

大卒正社員の約4人に1人は「転職エージェント」を利用しており、高卒正社員よりも14ポイント高い数値が出ています。大卒で就職活動の際にエージェントを使用した経験がある人は、その後の転職活動においてもエージェント利用が想起されやすいことが予想されます。

就職先探し的手段で最も利用したサービス

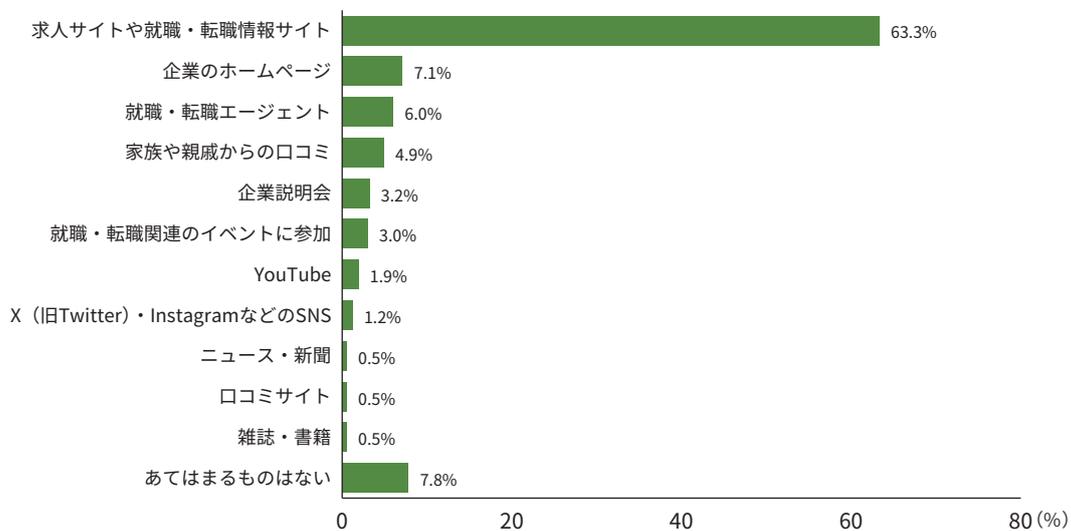
高卒フリーター		大卒フリーター	
1位	求人サイトや就職・ 転職情報サイト (62.1%)	1位	求人サイトや就職・ 転職情報サイト (67.8%)
2位	ハローワーク (19.3%)	2位	ハローワーク (11.1%)
3位	就職・転職エージェント (5.9%)	3位	就職・転職エージェント (10.4%)
4位	家族や親戚からの紹介 (3.3%)	4位	企業ホームページ (5.7%)
5位	友人からの紹介 (3.0%)	5位	友人からの紹介 (1.7%)
回答者数：269人 ※5位まで抜粋		回答者数：298人 ※5位まで抜粋	
高卒正社員		大卒正社員	
1位	求人サイトや就職・ 転職情報サイト (46.4%)	1位	求人サイトや就職・ 転職情報サイト (44.9%)
2位	ハローワーク (23.0%)	2位	就職・転職エージェント (27.2%)
3位	就職・転職エージェント (13.2%)	3位	ハローワーク (9.1%)
4位	友人からの紹介 (5.7%)	4位	企業ホームページ (6.7%)
5位	企業ホームページ (4.2%)	5位	スカウトサービス (3.1%)
回答者数：265人 ※5位まで抜粋		回答者数：254人 ※5位まで抜粋	

3-7. 就職・転職が決まった際に使った手段

就職・転職が決まった際に使った手段に関しては、フリーターも正社員も「求人サイトや就職・転職情報サイト」をメインで活用しており、そのほかの手段に大きな差は見られません。

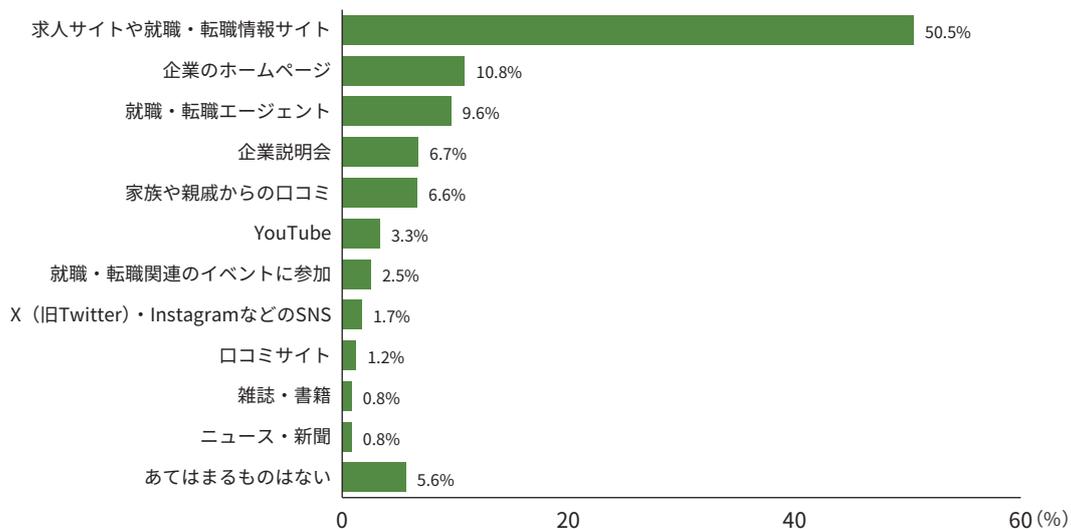
「就職・転職エージェント」と回答した割合は、フリーターでは6.0%、正社員では9.6%と3.6ポイント正社員のほうが多い結果になりました。正社員は、SNSやYouTubeを参考にしている割合もフリーターより高く、幅広い媒体から企業や業界の情報を得ていることが分かります。

就職・転職が決まった際に使った手段【フリーター】



回答者数：567人

就職・転職が決まった際に使った手段【正社員】



回答者数：519人

就職・転職が決まった際に使った手段【雇用形態・学歴別】

雇用形態・学歴別で見ると、どのグループも「求人サイトや就職・転職情報サイト」が最多となっています。具体的にはフリーターでは高卒・大卒共に60%以上の人を利用しており、正社員でも高卒52.1%、大卒48.8%と約半数の人が利用していました。

高卒フリーターでは「家族や親戚からの口コミ」が6.7%で2位にランクインしている一方で、大卒フリーターでは「企業のホームページ」が9.1%で2位でした。高卒フリーターは身近な人からの情報を参考にする傾向があるのに対し、大卒フリーターは企業の公式情報を確認する傾向があると推測できます。

正社員に関しては、大卒正社員では「就職・転職エージェント」の利用が14.2%と高卒正社員に比べて倍近い結果となりました。大卒正社員はキャリアアップやスキルアップを求めて専門家からのサポートを得ながら転職活動を行う傾向があると考えられます。

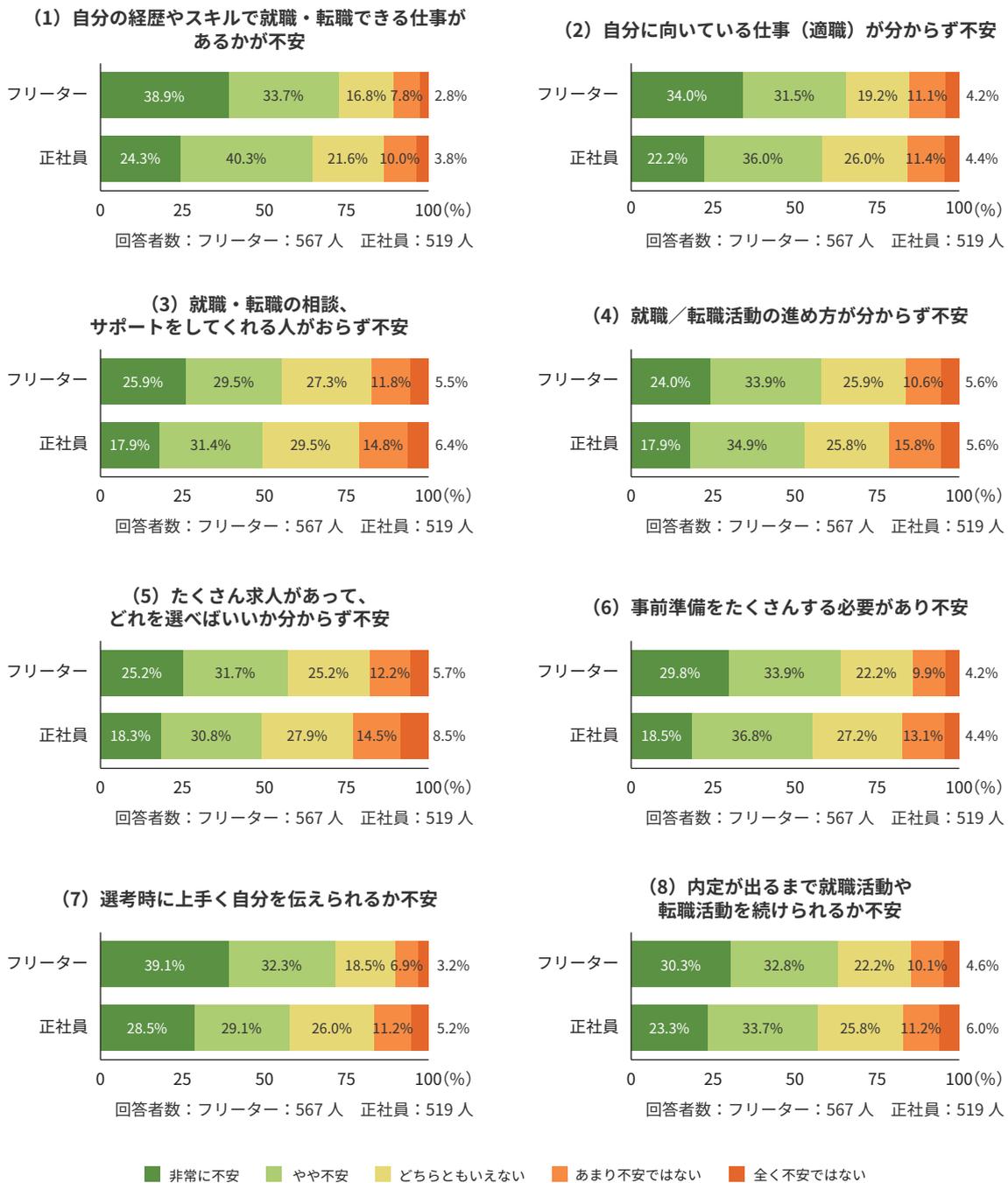
就職・転職が決まった際に使った手段

高卒フリーター		大卒フリーター	
1位	求人サイトや就職・ 転職情報サイト (66.2%)	1位	求人サイトや就職・ 転職情報サイト (60.7%)
2位	家族や親戚からの口コミ (6.7%)	2位	企業のホームページ (9.1%)
3位	企業のホームページ (4.8%)	3位	就職・転職エージェント (7.4%)
4位	就職・転職エージェント (4.5%)	4位	企業説明会 (4.4%)
5位	就職・転職関連のイベントに参加 (2.2%)	5位	就職・転職関連のイベントに参加 (3.7%)
回答者数：269人 ※5位まで抜粋		回答者数：298人 ※5位まで抜粋	
高卒正社員		大卒正社員	
1位	求人サイトや就職・ 転職情報サイト (52.1%)	1位	求人サイトや就職・ 転職情報サイト (48.8%)
2位	企業のホームページ (10.6%)	2位	就職・転職エージェント (14.2%)
3位	家族や親戚からの口コミ (8.3%)	3位	企業のホームページ (11.0%)
4位	企業説明会 (6.0%)	4位	企業説明会 (7.5%)
5位	就職・転職エージェント (5.3%)	5位	家族や親戚からの口コミ (4.7%)
回答者数：265人 ※5位まで抜粋		回答者数：254人 ※5位まで抜粋	

3-8. 就職活動・転職活動を始めるときの不安度

フリーターと正社員に、就職活動や転職活動を始める際の不安の度合いを尋ねると、下記の(1)～(8)の結果になりました。

ほとんどの質問で「非常に不安」「やや不安」との回答が過半数を超えており、就職活動・転職活動を始める際は不安を抱える人が多いことが分かります。全体的に正社員よりもフリーターのほうが就職活動に対して不安を感じやすいようです。



就職活動・転職活動の不安度を高い順に並び替えると次の通りです。フリーター・正社員共に経歴・スキルへの不安が1位と共通しているものの、フリーターは「自分の経歴やスキルで就職・転職できる仕事があるか」「選考時に上手く自分を伝えられるか」がどちらも7割を超えています。正社員と比べて、フリーターは経歴や自己PRへの不安が大きい傾向があることがうかがえます。

就職活動・転職活動を始めるときの不安度【フリーター】

- 1位 自分の経歴・スキルで就職・転職できる仕事があるかが不安だ (72.7%)
- 2位 選考時に上手く自分を伝えられるか不安だ (71.4%)
- 3位 自分に向いている仕事(適職)が分からず不安だ (65.4%)

回答者数：567人 ※3位まで抜粋
※「非常に不安だ」「やや不安だ」を合算した数値を記載

就職活動・転職活動を始めるときの不安度【正社員】

- 1位 自分の経歴・スキルで就職・転職できる仕事があるかが不安だ (64.5%)
- 2位 自分に向いている仕事(適職)が分からず不安だ (58.2%)
- 3位 選考時に上手く自分を伝えられるか不安だ (57.6%)

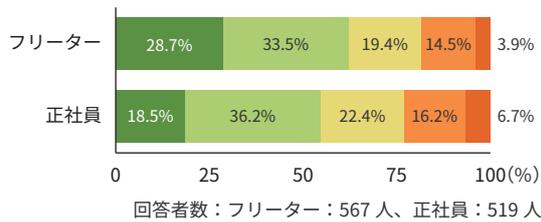
回答者数：519人 ※3位まで抜粋
※「非常に不安だ」「やや不安だ」を合算した数値を記載

3-9. 就職活動・転職活動における選考中の不安度

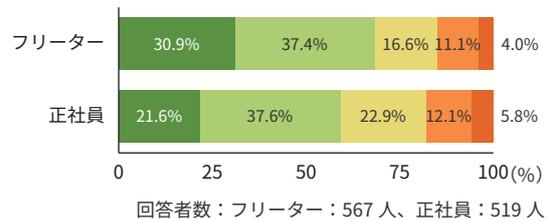
就職活動・転職活動における選考中の不安度は次の通りです。こちらも全体的にフリーターのほうが不安度が高い結果になっています。

フリーター・正社員共に「事前の面接対策」や「面接でのアピール方法」など面接に対して不安を感じる割合が高く、「面接のスケジュール調整・管理」に不安を感じる割合は比較的低くなっています。

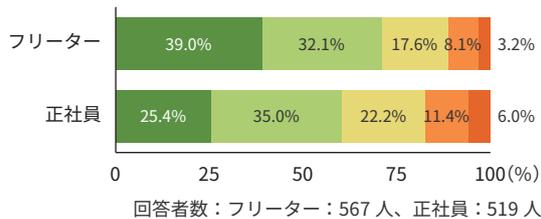
(1) 履歴書や職務経歴書の準備



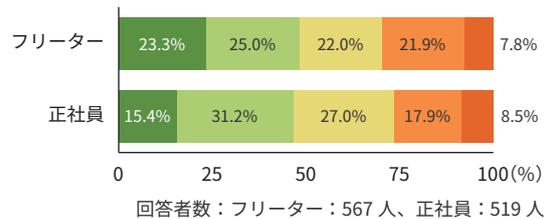
(2) 履歴書の書き方や面接時のマナー



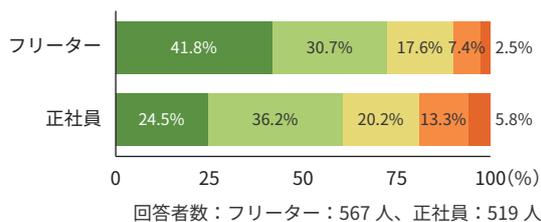
(3) 事前の面接対策



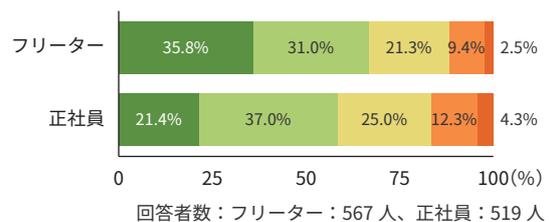
(4) 面接のスケジュール調整・管理



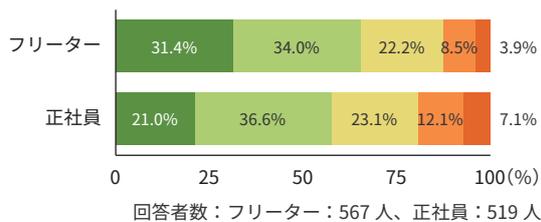
(5) 面接でのアピール方法



(6) 実際の業務内容や社風の把握



(7) 就職活動・転職活動のモチベーション維持



■ 非常に不安 ■ やや不安 ■ どちらともいえない ■ あまり不安ではない ■ 全く不安ではない

不安を感じる度合いが高いものを抜粋すると次の通りです。フリーター・正社員共に、1位から3位で同じ結果となりました。いずれも面接に関して不安を抱いていることが分かります。

就職活動・転職活動における選考中の不安度【フリーター】

- 1位 面接でのアピール方法 (72.5%)
- 2位 事前の面接対策 (71.1%)
- 3位 履歴書の書き方や面接時のマナー (68.3%)

回答者数：567人 ※3位まで抜粋
※「非常に不安だ」「やや不安だ」を合算した数値を記載

就職活動・転職活動における選考中の不安度【正社員】

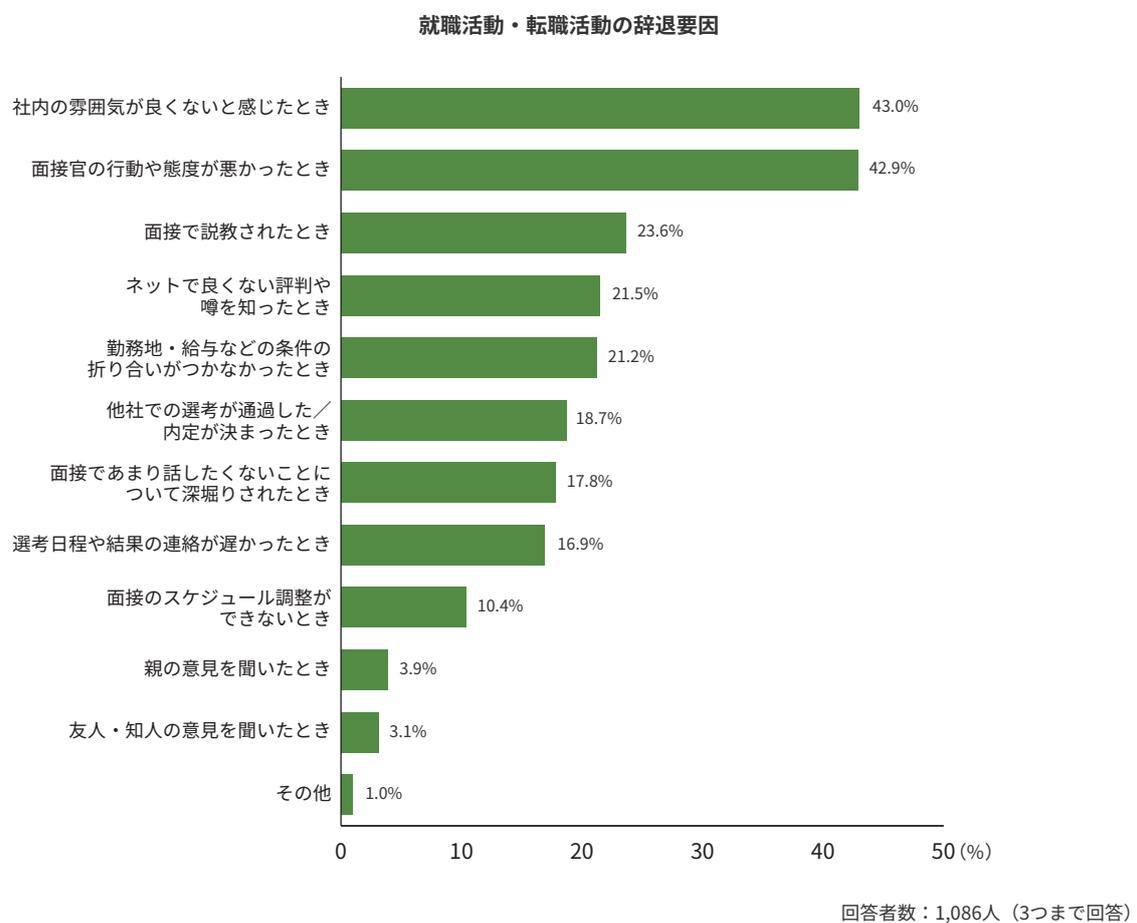
- 1位 面接でのアピール方法 (60.7%)
- 2位 事前の面接対策 (60.5%)
- 3位 履歴書の書き方や面接時のマナー (59.2%)

回答者数：519人 ※3位まで抜粋
※「非常に不安だ」「やや不安だ」を合算した数値を記載

3-10. 就職活動・転職活動で辞退する要因となるもの

就職・転職活動の経験があるフリーター・正社員に対し、選考や内定を辞退する要因となるものを尋ねると、「社内の雰囲気が悪くないと感じたとき」や「面接官の行動や態度が悪かったとき」の割合が高くなりました。

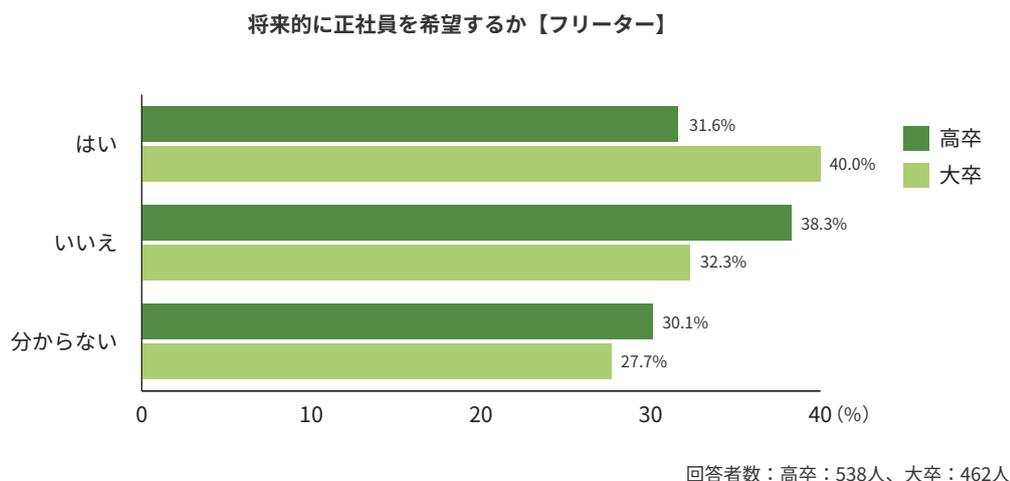
「2-5. 仕事で一番大切にしている価値観」でも、「人間関係の良い職場環境で働くこと」が上位に挙がっており、人間関係を重視する傾向が辞退理由にも表れていると推察できます。



04. 今後のキャリアについて

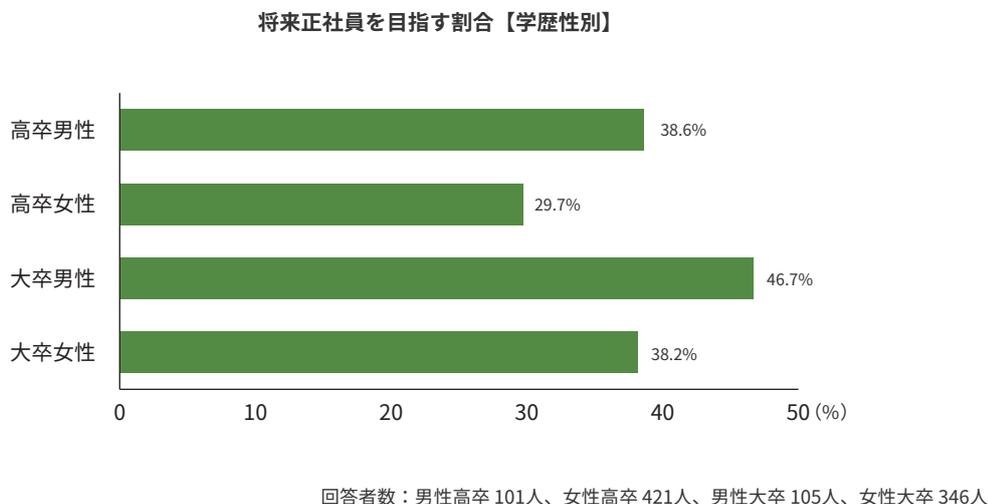
4-1. 将来的に正社員を希望するか

将来的に正社員を希望するかという質問に対し、高卒フリーターの31.6%と、大卒フリーターの40.0%が「はい」と回答しました。ただし高卒フリーターは、正社員を希望する人よりも希望しない人の割合のほうが高くなっています。



将来正社員を目指すフリーターの割合【学歴・男女別】

学歴別、男女別に見ると、高卒の方より大卒、女性より男性のほうが正社員を希望する傾向があります。フリーターの中でも学歴や性別によって、正社員を目指す割合が異なることが分かりました。



4-2. いつ頃までに正社員になりたいか

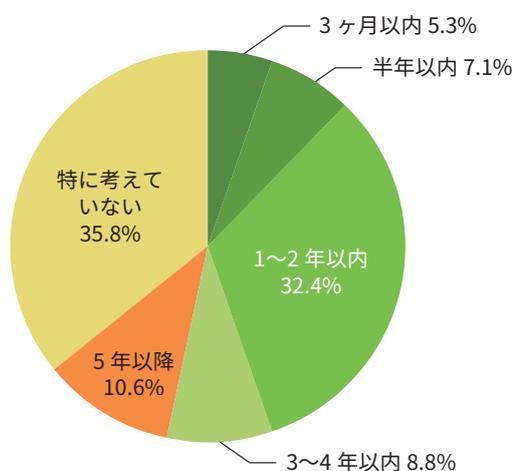
将来的に正社員になりたいと回答したフリーターに対し、いつ頃までにになりたいかを尋ねると下記の結果になりました。

高卒フリーターの場合、「特に考えていない」が35.8%と圧倒的ですが、大卒フリーターは25.4%にとどまっております。大卒フリーターは具体的に考えている割合が多いことがうかがえます。

高卒フリーターの場合、短期（3ヶ月以内、半年以内）よりも中長期（1～2年以内、3～4年以内）での就職希望が多い傾向が見られました。

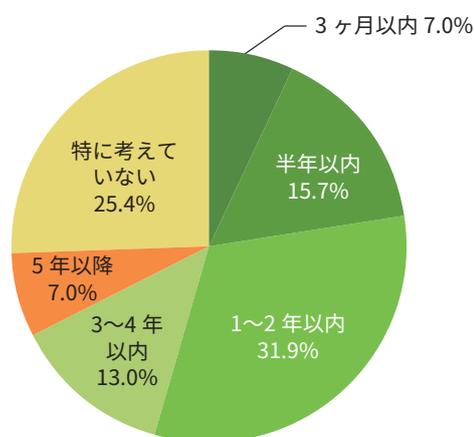
一方、大卒フリーターの場合、中長期（1～2年以内、3～4年以内）に加えて短期（3ヶ月以内、半年以内）での就職希望も少なくありません。高卒の方より、大卒の方のほうが早い時期に正社員に就職したいと希望する傾向があると言えます。

いつ頃までに正社員になりたいか
【高卒フリーター】



回答者数：170人

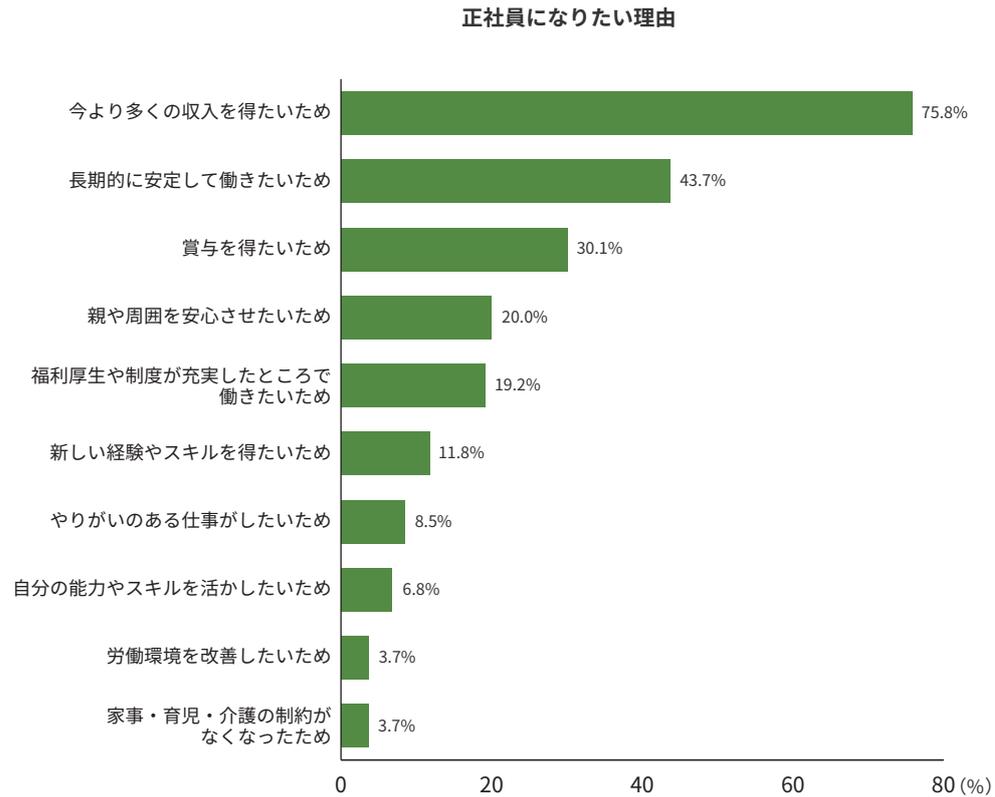
いつ頃までに正社員になりたいか
【大卒フリーター】



回答者数：185人

4-3. 正社員になりたい理由

将来的に正社員を希望するフリーターに対し、正社員になりたい理由を尋ねると、「今より多くの収入を得たいため」という回答が最多でした。ほかにも、「長期的に安定して働きたいため」「賞与を得たいため」などが挙げられており、正社員だからこそ得られる報酬や制度など経済的や社会的な安定に魅力を感じる人が多いようです。



回答者数：355人（3つまで回答）

正社員になりたい理由【男女別】

男女別に見ると上位2つの回答に違いはなく、「今より多くの収入を得たいため」が75%以上を占めました。3位は男女で異なる回答で、男性では「親や周囲を安心させたいため」、女性では「賞与を得たいため」がランクインしています。

正社員になりたい理由

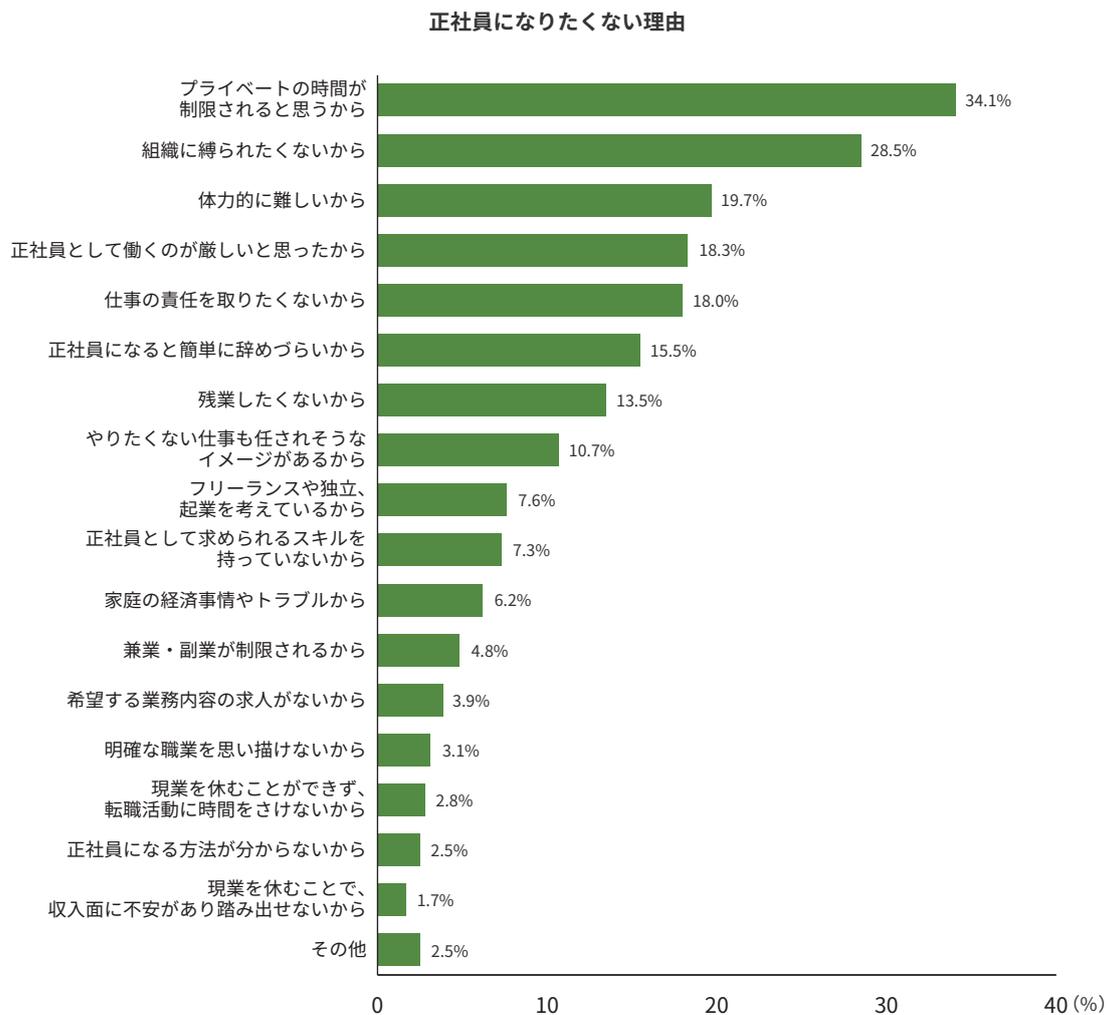
男性	女性
1位 今より多くの収入を得たいため (75.6%)	1位 今より多くの収入を得たいため (75.8%)
2位 長期的に安定して働きたいため (45.6%)	2位 長期的に安定して働きたいため (43.0%)
3位 親や周囲を安心させたいため (30.0%)	3位 賞与を得たいため (32.1%)
4位 賞与を得たいため (24.4%)	4位 福利厚生や制度が充実したところで働きたいため (22.3%)
5位 自分の能力やスキルを活かしたいため (11.1%)	5位 親や周囲を安心させたいため (16.6%)

回答者数：90人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

回答者数：265人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

4-4. 正社員になりたくない理由

将来的に正社員になることを望まない人に対し、その理由を尋ねると下記の結果になりました。「プライベートの時間が制限されると思うから」や「組織に縛られたくないから」など、自由度が下がることを懸念した回答が多く挙がっています。



回答者数：355人（3つまで回答）

正社員になりたくない理由【男女別】

正社員になりたくない理由を男女別に見ると以下の結果となりました。どちらも「組織に縛られたくないから」「プライベートの時間が制限されると思うから」が上位を占めています。

3位以下には違いが見られました。男性は「フリーランスや独立、起業を考えているから」「正社員になると簡単に辞めづらいから」といった理由であるのに対し、女性は「体力的に難しいから」「仕事の責任を取りたくないから」がランクインしています。

正社員になりたくない理由

男性	女性
1位 組織に縛られたくないから (27.7%)	1位 プライベートの時間が制限されると思うから (36.6%)
2位 プライベートの時間が制限されると思うから (23.1%)	2位 組織に縛られたくないから (28.6%)
3位 フリーランスや独立、起業を考えているから (18.5%)	3位 体力的に難しいから (21.7%)
4位 正社員になると簡単に辞めづらいから (13.8%)	4位 仕事の責任を取りたくないから (19.3%)
4位 正社員として働くのが厳しいと思ったから (13.8%)	4位 正社員として働くのが厳しいと思ったから (19.3%)

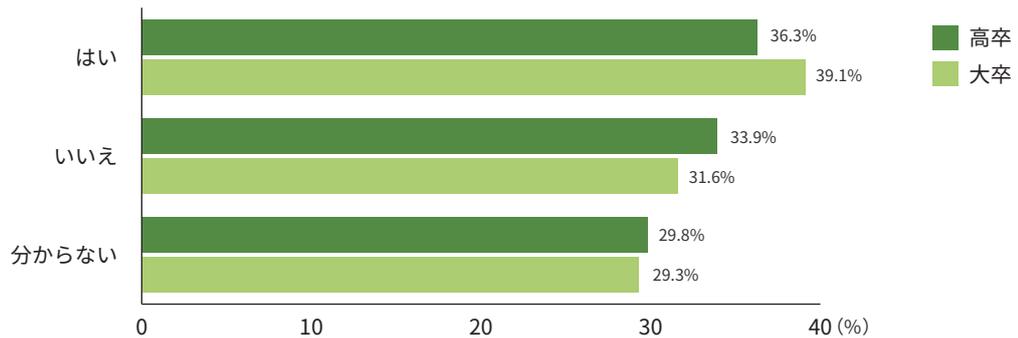
回答者数：65人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

回答者数：290人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

4-5. 将来的に転職を検討しているか

現在転職活動をしていない正社員に対し、将来的に転職を検討しているかを尋ねたところ、高卒正社員は36.3%、大卒正社員は39.1%が「はい」という結果で、約4割の正社員が転職を検討している結果になりました。大きな差はないものの、大卒の正社員のほうが転職への意欲がやや高いことが分かります。

将来的に転職を検討しているか【正社員】



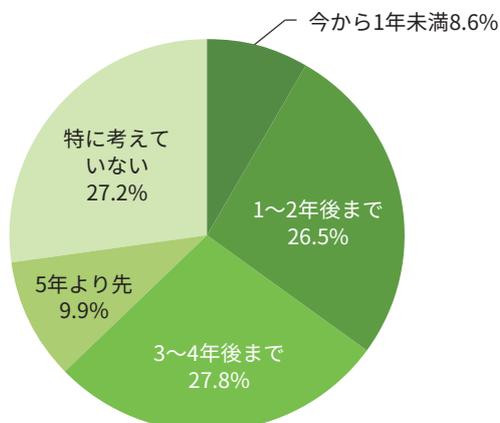
回答者数：高卒 416 人、大卒 396 人

4-6. いつ頃までに転職したいか

転職時期に関する問いに対し、高卒正社員、大卒正社員共に「3～4年後まで」に転職したいと計画を立てている人の割合が最も多く、それぞれ27.8%、30.3%と転職意欲の高さがうかがえました。

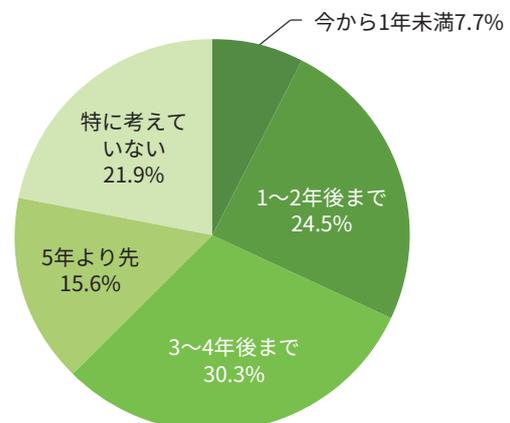
一方、「特に考えていない」と回答した人の割合も高卒正社員27.2%、大卒正社員21.9%と約3割程度いることから、明確な転職時期を決めていない人も一定数いることが分かります。また、「5年より先」と、長期的なスパンで転職を考えている人も一定数存在するようです。

いつ頃までに転職したいか【高卒正社員】



回答者数：151 人

いつ頃までに転職したいか【大卒正社員】

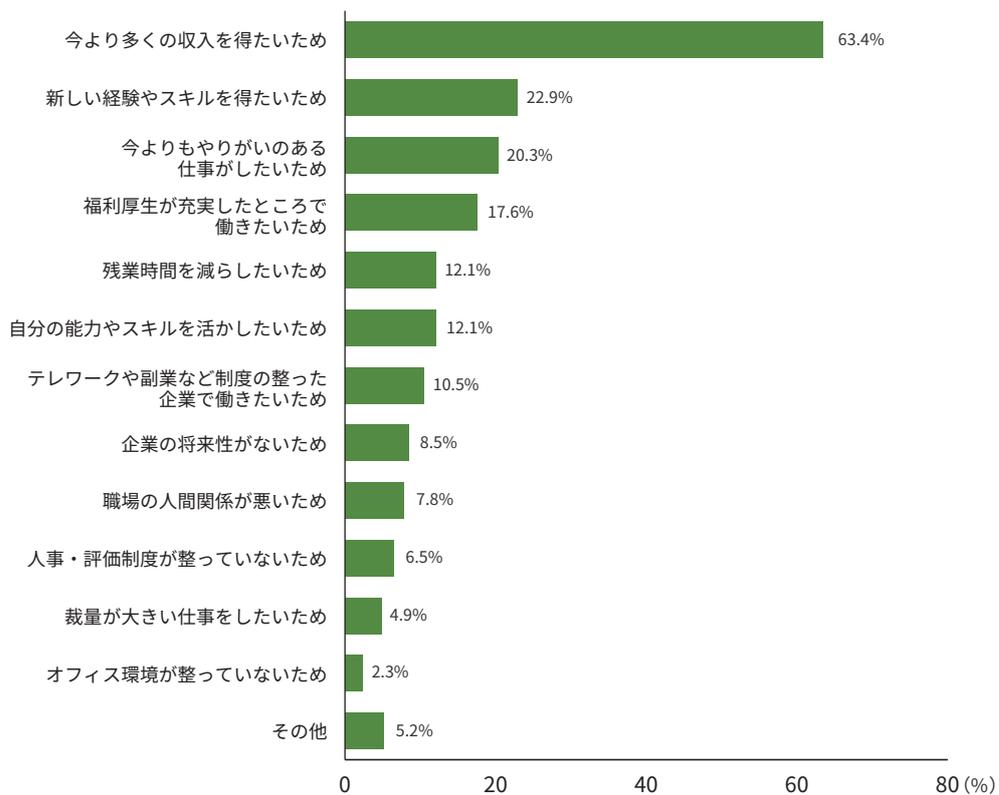


回答者数：155 人

4-7. 転職したい理由

正社員が将来的に転職したい理由としては、フリーターの「4-3. 正社員になりたい理由」同様、「今より多くの収入を得たいため」が最も多く、63.4%という結果でした。ただし、正社員の場合、「新しい経験やスキルを得たいため」「今よりもやりがいのある仕事がしたいため」といった、仕事内容やキャリアに関連する項目も転職理由として重視されていることが分かります。

転職したい理由【正社員】



回答者数：306人（3つまで回答）

転職したい理由【男女・学歴別】

将来的に転職したい理由を男女・学歴別に見ると、いずれも「今より多くの収入を得たいため」が約6割と最も多い結果になりました。

男性正社員の転職したい理由の2位・4位に「新しい経験やスキルを得たいため」「自分の能力やスキルを活かしたいため」がランクインしており、スキルアップやキャリア向上意識の高さがうかがえます。

一方、女性正社員では「福利厚生が充実したところで働きたいため」「テレワークや副業など制度の整った企業で働きたいため」がランクインしており、待遇面や柔軟な働き方を重視する傾向にあるようです。

学歴別に見ると、高卒正社員の転職したい理由の2位は「今よりもやりがいのある仕事がしたいため」ですが、大卒正社員の2位は「新しい経験やスキルを得たいため」でした。高卒正社員はやりがいを、大卒正社員は新しい経験やスキルを求めて転職を検討する傾向があるようです。

転職したい理由

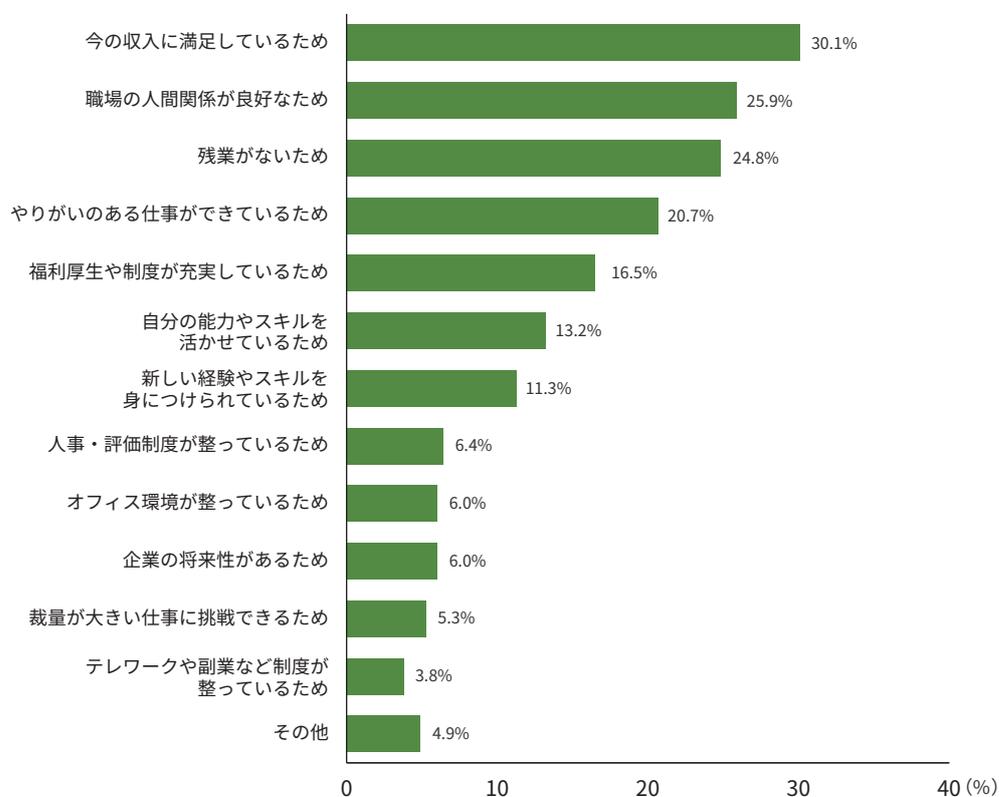
男性正社員	女性正社員
1位 今より多くの収入を得たいため (67.4%)	1位 今より多くの収入を得たいため (60.3%)
2位 新しい経験やスキルを得たいため (25.8%)	2位 新しい経験やスキルを得たいため (20.7%)
3位 今よりもやりがいのある仕事がしたいため (20.5%)	3位 今よりもやりがいのある仕事がしたいため (20.1%)
4位 残業時間を減らしたいため (15.9%)	3位 福利厚生が充実したところで働きたいため (20.1%)
4位 自分の能力やスキルを活かしたいため (15.9%)	5位 テレワークや副業など制度の整った企業で働きたいため (15.5%)
回答者数：132人 (3つまで回答) ※5位まで抜粋	回答者数：174人 (3つまで回答) ※5位まで抜粋
高卒正社員	大卒正社員
1位 今より多くの収入を得たいため (68.9%)	1位 今より多くの収入を得たいため (58.1%)
2位 今よりもやりがいのある仕事がしたいため (21.9%)	2位 新しい経験やスキルを得たいため (29.7%)
3位 福利厚生が充実したところで働きたいため (16.6%)	3位 今よりもやりがいのある仕事がしたいため (18.7%)
4位 新しい経験やスキルを得たいため (15.9%)	3位 福利厚生が充実したところで働きたいため (18.7%)
5位 自分の能力やスキルを活かしたいため (13.9%)	5位 残業時間を減らしたいため (12.9%)
回答者数：151人 (3つまで回答) ※5位まで抜粋	回答者数：155人 (3つまで回答) ※5位まで抜粋

4-8. 転職したくない理由

将来的に「転職したくない」理由としては、「今の収入に満足しているため」「職場の人間関係が良好なため」が1、2位を占めました。

「4-7. 転職したい理由」では、収入面の不満が一番に挙げられていることから、収入への満足度は転職する・しないの大きな判断基準となると考えられます。

転職したくない理由【正社員】



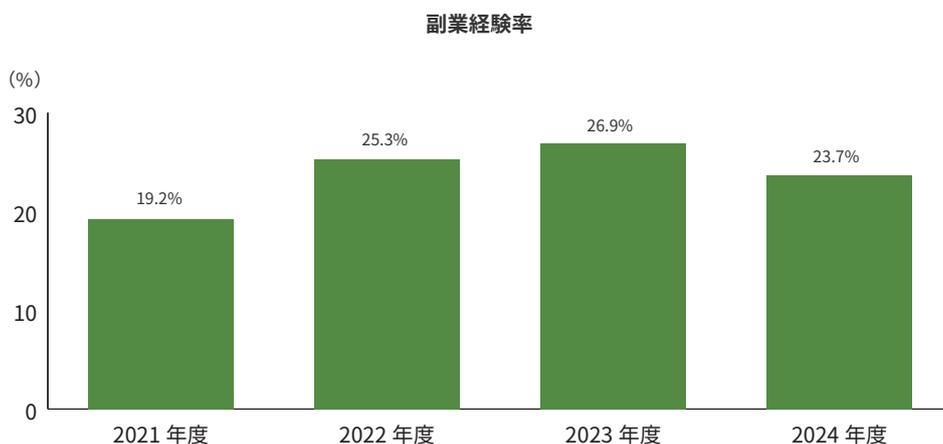
回答者数：266人（3つまで回答）

05. 副業状況について

5-1. 現在の副業状況について

正社員の副業状況としては、「副業はしたことがある」が3割以下という結果に。政府が2017年頃から副業を推進しているにもかかわらず、いまだ多くの企業で就業規則によって副業が禁止されていることが、低い副業経験率の背景にあると考えられます。

過去4年間の推移を比較すると、2024年度の副業経験率は23.7%と、前年度より微減しています。過去4年間の副業経験率は20%前後で推移しており、副業経験のある正社員は一定数いることが分かります。



回答者数：2021 年度・2023 年度・2024 年度 各 1,000 人、2022 年度 1,096 人

5-2. 副業の仕事内容

正社員の副業内容に関する調査では、「営業・販売・サービス系」が最も多く、次いで「懸賞・アンケートモニター」「軽作業・物流・工場」「オフィスワーク・事務系」「投資・シェアビジネス」という結果になりました。本業のスキマ時間にできる点がメリットとなり、これらの副業が選ばれていると考えられます。

副業の仕事内容

- 1位 営業・販売・サービス系 (30.8%)
- 2位 懸賞・アンケートモニター (16.9%)
- 3位 軽作業・物流・工場 (13.9%)
- 4位 オフィスワーク・事務系 (13.1%)
- 5位 投資・シェアビジネス (9.3%)

回答者数：237人（複数回答） ※5位まで抜粋

副業の仕事内容【男女別】

男女別に副業内容を見てみると、「営業・販売・サービス系」「懸賞・アンケートモニター」「軽作業・物流・工場」「オフィスワーク・事務系」は男女共通して人気が高い傾向にあります。しかし、男性では4位に「投資・シェアビジネス」、女性では5位に「IT・エンジニア系」がランクインしているように、細かな点では違いも見取れます。

副業の仕事内容

男性	女性
1位 営業・販売・サービス系 (23.0%)	1位 営業・販売・サービス系 (41.1%)
2位 懸賞・アンケートモニター (14.8%)	2位 懸賞・アンケートモニター (19.6%)
3位 軽作業・物流・工場 (14.1%)	3位 軽作業・物流・工場 (13.7%)
4位 オフィスワーク・事務系 (13.3%)	4位 オフィスワーク・事務系 (12.7%)
4位 投資・シェアビジネス (13.3%)	5位 IT・エンジニア系 (5.9%)

回答者数：135人（複数回答）
※5位まで抜粋

回答者数：102人（複数回答）
※5位まで抜粋

5-3. 副業を行う理由

現在副業している、もしくは過去に副業したことがある正社員に副業の理由を尋ねたところ、「趣味などに充てる副収入を得たいから」が1位。2位、3位も収入に関する理由が続いています。この結果から、将来への備えとして副業をしている人が一定数いることが分かりました。多くの正社員にとって、副業は収入を補う手段となっているようです。

副業する理由

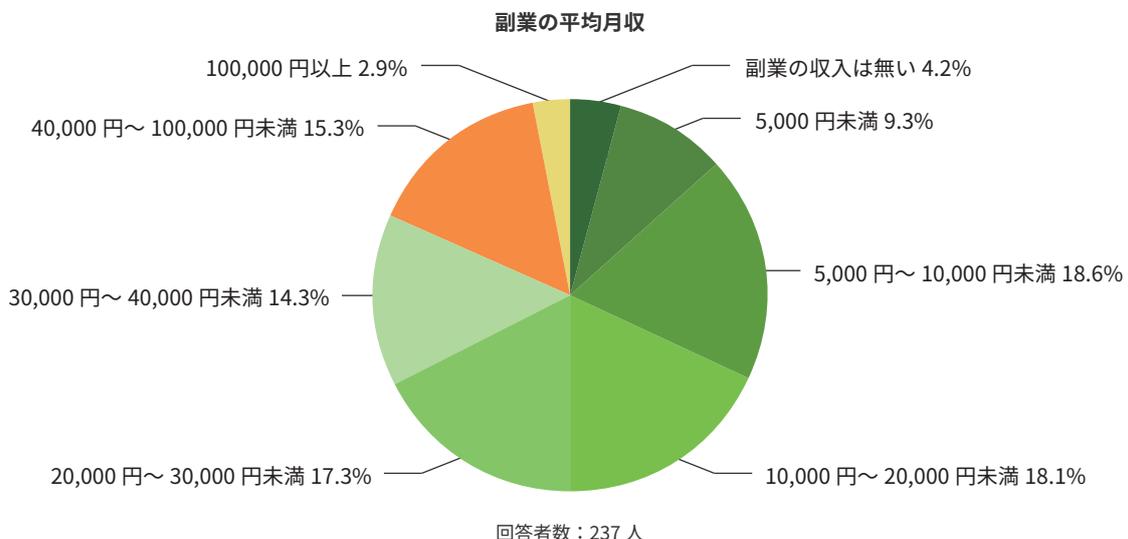
- 1位 趣味などに充てる副収入を得たいから (47.7%)
- 2位 本業の収入だけでは生活するうえで不十分だから (30.8%)
- 3位 本業の収入だけでは将来的な不安があるから (27.4%)
- 4位 時間にゆとりがあるから (19.0%)
- 5位 さまざまな分野の人とのつながりを持ちたいから (14.8%)

回答者数：237人（3つまで回答） ※5位まで抜粋

5-4. 副業の平均月収

副業経験がある人の、副業の平均月収は下記の結果となりました。「5,000円～10,000円未満」の回答が最多となり、30,000円未満が全体の63.3%を占めています。わずかながらでも追加収入を得るために副業を行っている人が多いようです。

一方で、月に40,000円以上の収入を得ている人々も18.2%と一定数存在しています。その中で10万円以上の収入があると回答した方も2.9%おり、本格的な収入を副業で得ている方がいることが分かりました。



06. リスキリングについて

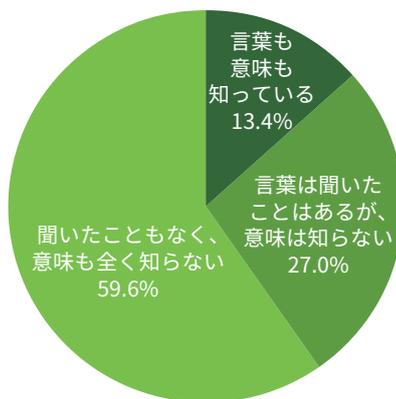
6-1. リスキリングの認知度

リスキリングの認知度についての結果は、下記のようにになりました。

「リスキリング」という言葉を聞いたことがあると回答した割合は40.4%で、5割以上のフリーター・正社員が聞いたことがないと回答。雇用形態別に見ると、正社員のほうがフリーターより10ポイントほど認知度が高い傾向にあります。

経済産業省が2023年度からリスキリングを通じたキャリアアップ支援事業を開始するなど、国を挙げてリスキリング推進に取り組んでいるものの、リスキリングの「言葉も意味も知っている」と回答した割合は2割未満に留まり、18～29歳のリスキリングの浸透率の低さが明らかになりました。

リスキリングの認知度



回答者数：2,000人

リスキリングの認知度【雇用形態別】



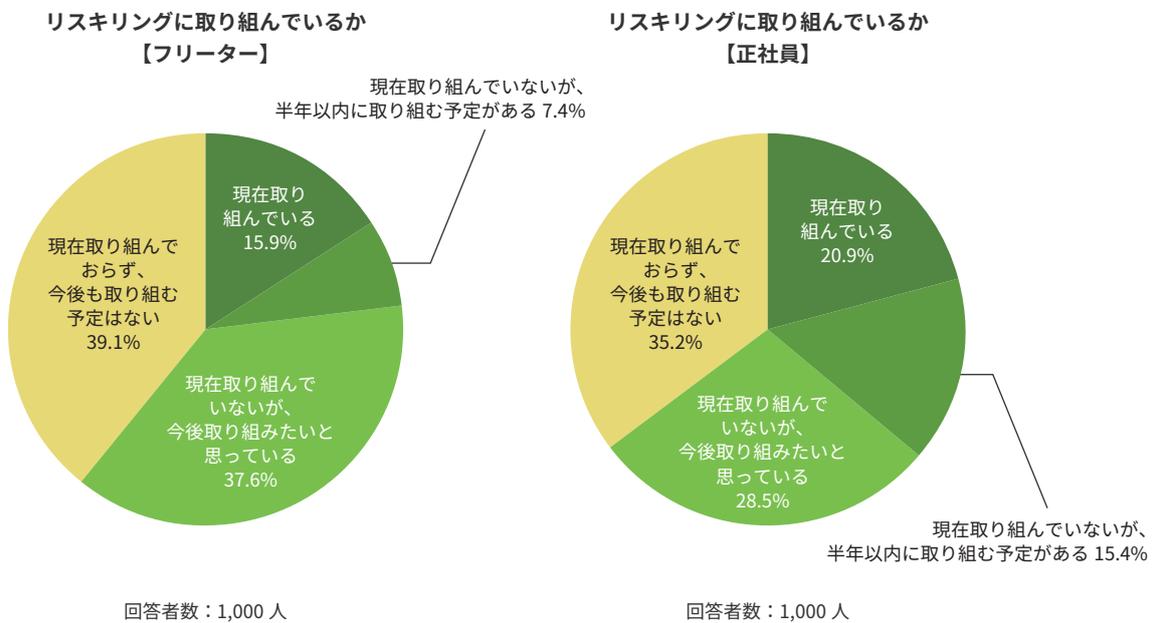
回答者数：フリーター1,000人、正社員1,000人

6-2. リスキリングに取り組んでいるか

「リスキリングに取り組んでいるか」聞いたところ、次のような結果になりました。

「現在取り組んでいる」「現在取り組んでいないが、半年以内に取り組む予定がある」「現在取り組んでいないが、今後取り組みたいと思っている」という取り組みに関心を持つ回答が、フリーターは60.9%なのに対し正社員は64.8%と、正社員のほうがリスキリングに対して前向きに捉えていることが分かります。

リスキリングの認知度は低いものの、6割以上の方は、実際に取り組む、取り組みたいと思っているなど前向きな姿勢を示していることが分かりました。

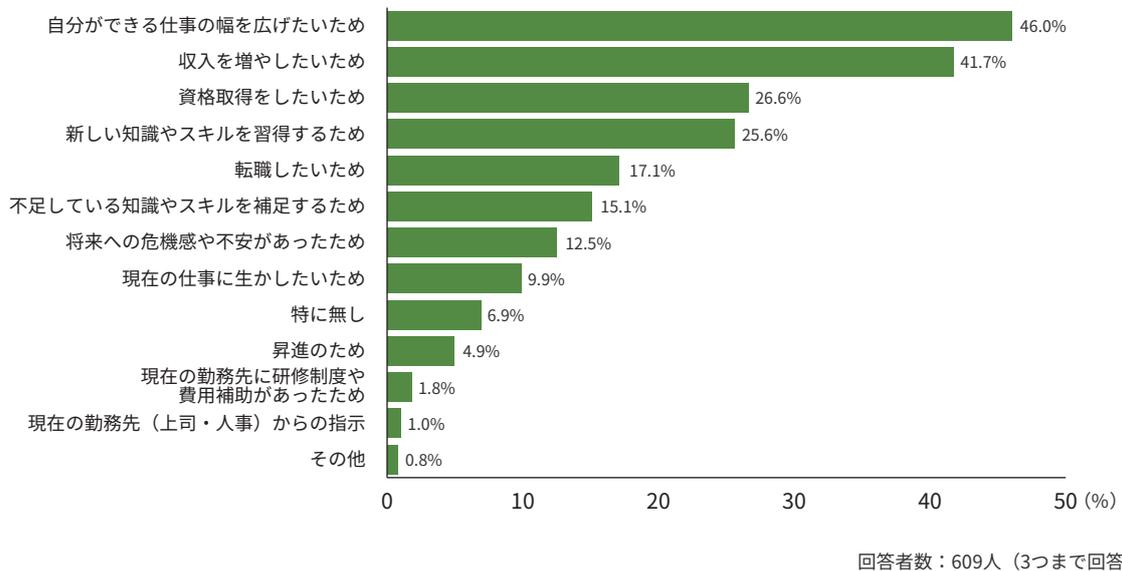


6-3. リスキリングに取り組む理由

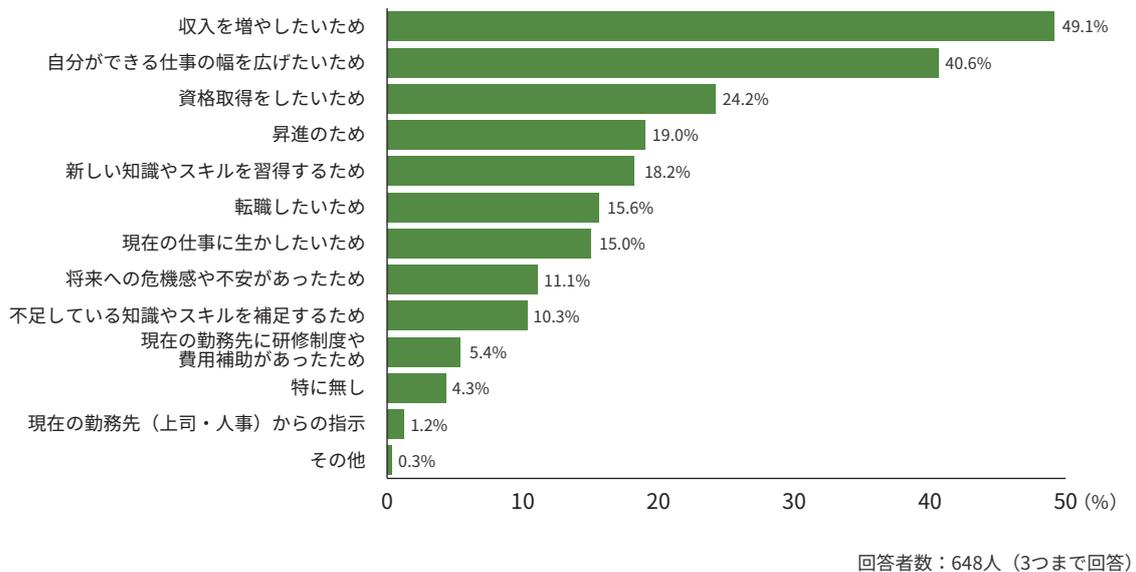
リスキリングの意味を知っており、かつリスキリングに取り組んでいる、または今後取り組む予定のある人に対してその理由を尋ねたところ、フリーター・正社員共に「自分ができる仕事の幅を広げたいため」「収入を増やしたいため」という回答が上位を占めました。

正社員の4位には「昇進のため」という回答がランクインしています。政府がリスキリングを推奨していることもあり、従業員は昇進を目指して積極的にスキルアップを図っていると考えられます。

リスキリングに取り組む理由【フリーター】



リスキリングに取り組む理由【正社員】

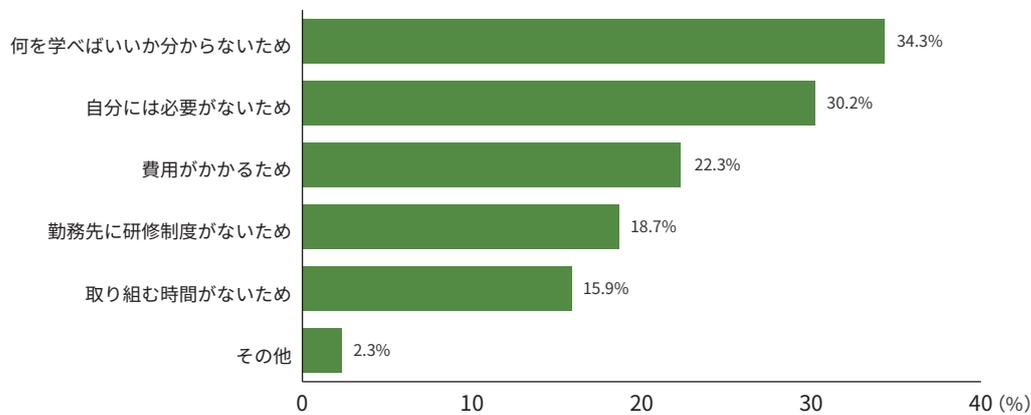


6-4. リスキリングに取り組んでいない理由

リスキリングに「現在取り組んでおらず、今後も取り組む予定はない」と回答した人に、その理由を尋ねると、フリーターでは「何を学ばいいかわからないため」が34.3%、正社員は「取り組む時間がないため」が27.8%と最も多く挙げられました。また、リスキリングの必要性を感じていないことも理由として挙げられています。

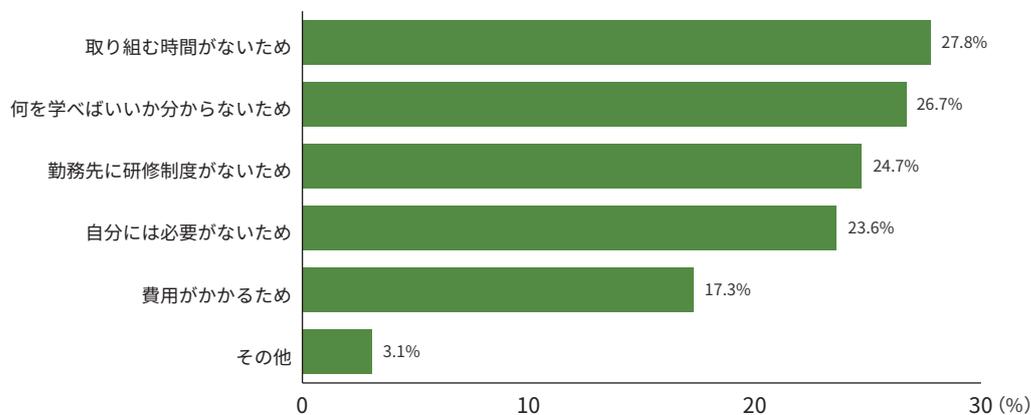
フリーター・正社員別で見ると、「取り組む時間がないため」と回答した割合に違いが見られ、正社員のほうが12ポイント程度高いです。

リスキリングに取り組んでいない理由【フリーター】



回答者数：391人

リスキリングに取り組んでいない理由【正社員】

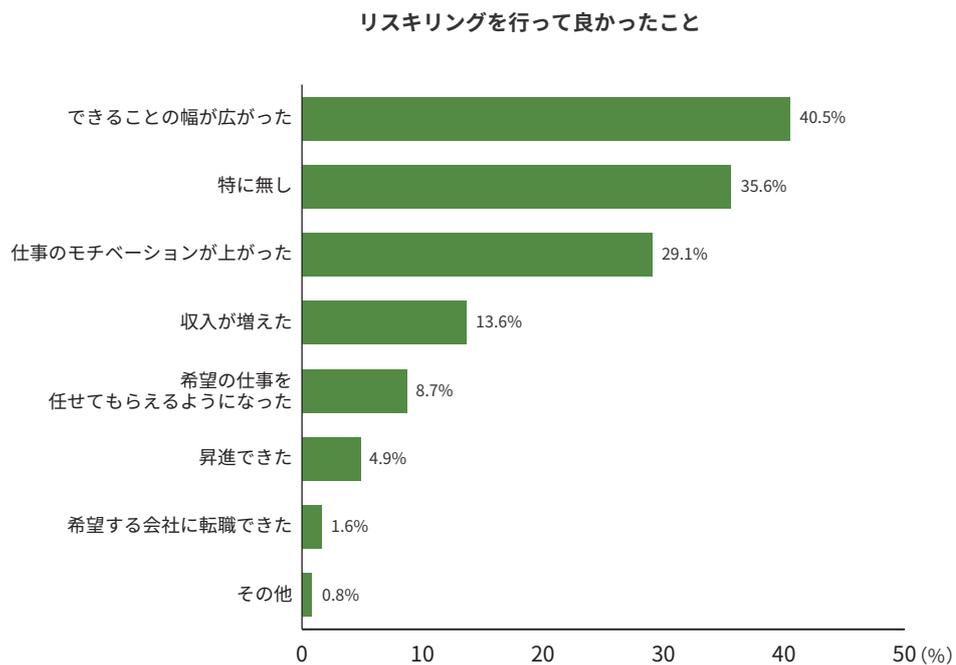


回答者数：352人

6-5. リスキリングを行って良かったこと

リスキリングを行って良かったと感じたことについて尋ねると、「できることの幅が広がった」が40.5%で最も多く、「仕事のモチベーションが上がった」「収入が増えた」の回答も多く挙がっています。

一方で、「特に無し」という回答が35.6%もありました。リスキリングによってまだ収入増加やキャリアアップといった具体的な成果を実感できていないと感じる方が一定数存在すると分かります。



回答者数：368人（3つまで回答）

07. 選挙について

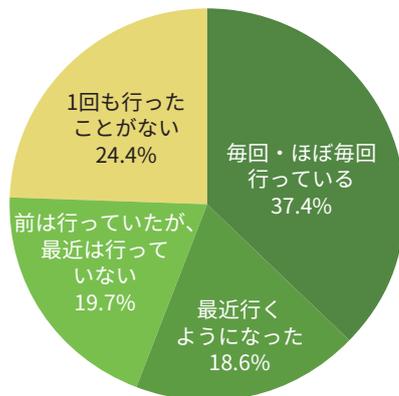
7-1. 投票に行く頻度

投票に行く頻度について調査したところ、「毎回・ほぼ毎回行っている」と回答した人の割合は37.4%でした。約4割の人が投票に足を運んでいる一方で、6割以上の方は毎回行っているわけではない、または一度も行ったことがないという結果になりました。

雇用形態・学歴別に見ると、高卒フリーターでは「毎回・ほぼ毎回行っている」と回答した人の割合が26.8%であるのに対し、大卒正社員では47.6%と、高卒フリーターより20ポイント以上高いです。

フリーターと正社員を比較すると、正社員のほうが選挙に行く傾向にあります。学歴別で見ると、大卒のほうが高卒よりも選挙に行く傾向にあるようです。

投票に行く頻度



回答者数：2,000人

投票に行く頻度【雇用形態 × 学歴別】



■ 毎回・ほぼ毎回行っている ■ 最近行くようになった
■ 前は行っていたが、最近行っていない ■ 1回も行ったことがない

回答者数：フリーター：1,000人、正社員：1,000人

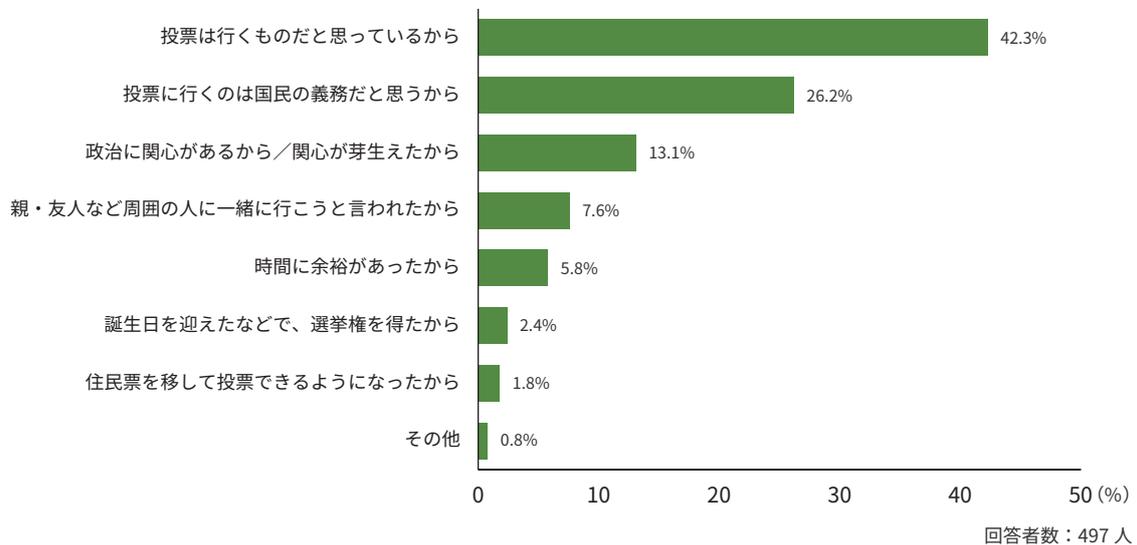
7-2. 投票に行く・行かない理由

投票に行く理由について尋ねたところ、フリーター・正社員共に「投票は行くものだと思っているから」という回答が最も多く、次いで「投票に行くのは国民の義務だと思うから」という回答が続きました。

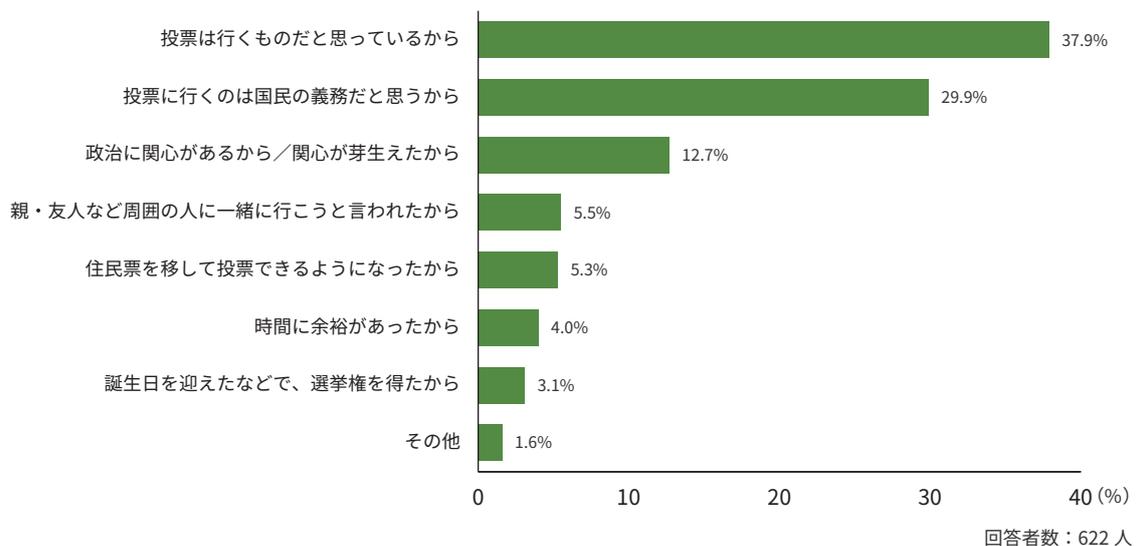
一方で、投票に行かない理由としては、フリーター・正社員共に「予定が合わなかったから」が最も多く、次いでフリーターでは「どこの党に投票していいかわからないから」、正社員では「投票所に行くのが面倒くさいから」という回答でした。

投票に行く人は「行くものだと思っている」「国民の義務だと思う」と考えている一方、行かない人の多くは「予定が合わない」「投票先がわからない」「面倒くさい」と感じているようです。

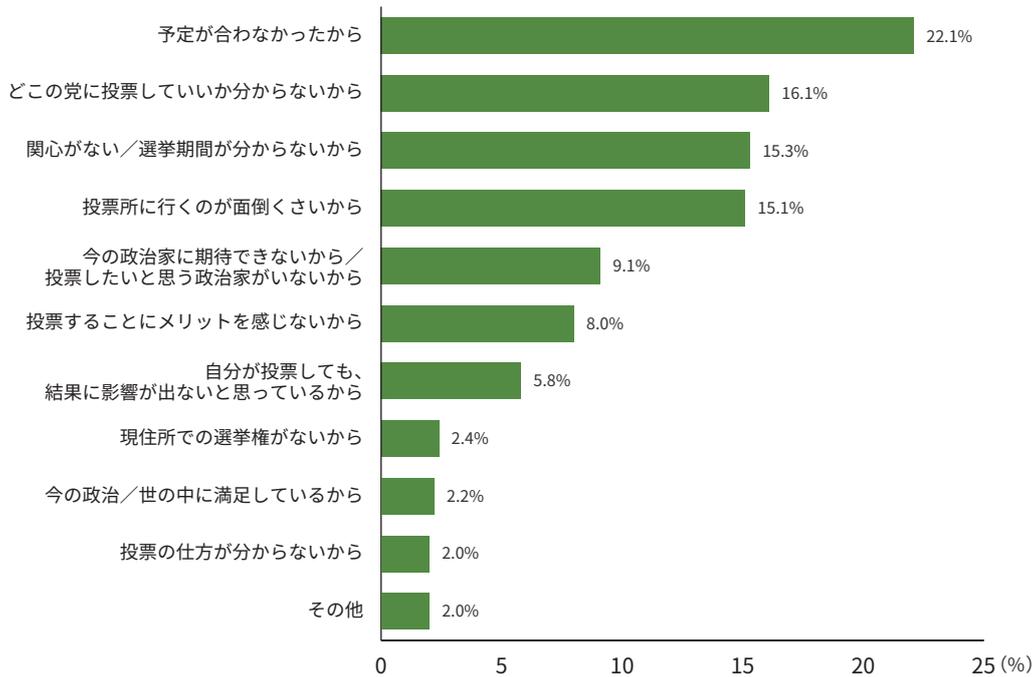
投票に行く理由【フリーター】



投票に行く理由【正社員】

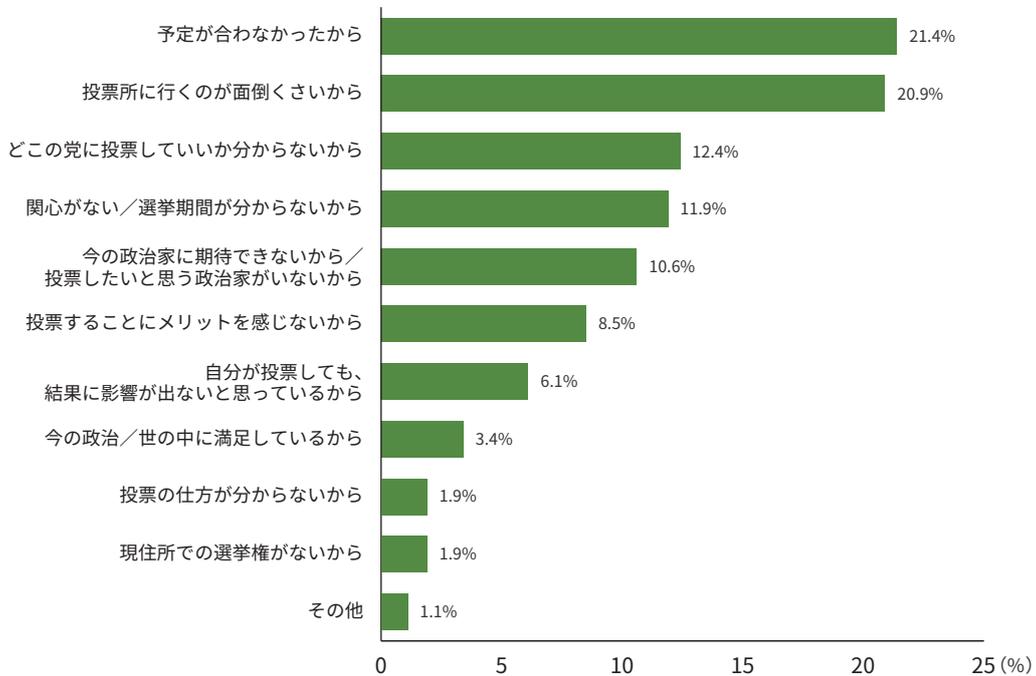


投票に行かない理由【フリーター】



回答者数：503人

投票に行かない理由【正社員】



回答者数：378人

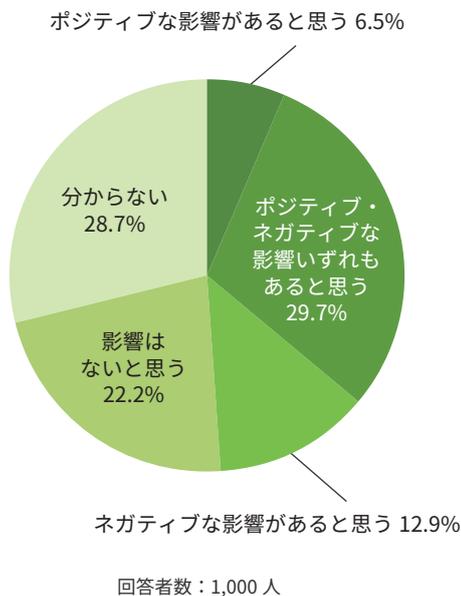
7-3. 政策が自身のキャリアに影響があると思うか

政策が自身のキャリアに影響を与えると思うか尋ねたところ、フリーター・正社員共に「ポジティブ・ネガティブな影響いずれもあると思う」という回答が最も多く、約3割を占める結果となりました。

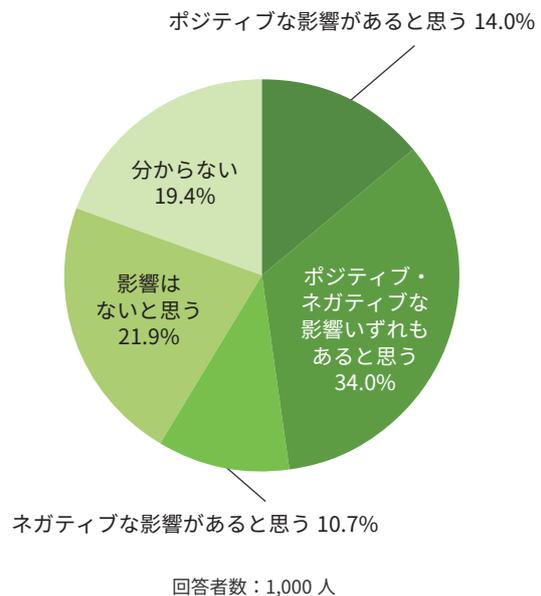
「ポジティブな影響があると思う」と回答した正社員は14.0%であるのに対し、フリーターは6.5%にとどまりました。一方、「ネガティブな影響があると思う」と回答した正社員は10.7%であるのに対し、フリーターは12.9%でした。正社員はフリーターよりも政策のポジティブな影響を感じている傾向があるようです。

「分からない」と回答したフリーターは28.7%であるのに対し、正社員は19.4%と9.3ポイントの差が見られました。政策とキャリアの関連性について、フリーターは正社員と比べて関心が低い傾向がうかがえます。

政策がキャリアに影響があると思うか【フリーター】



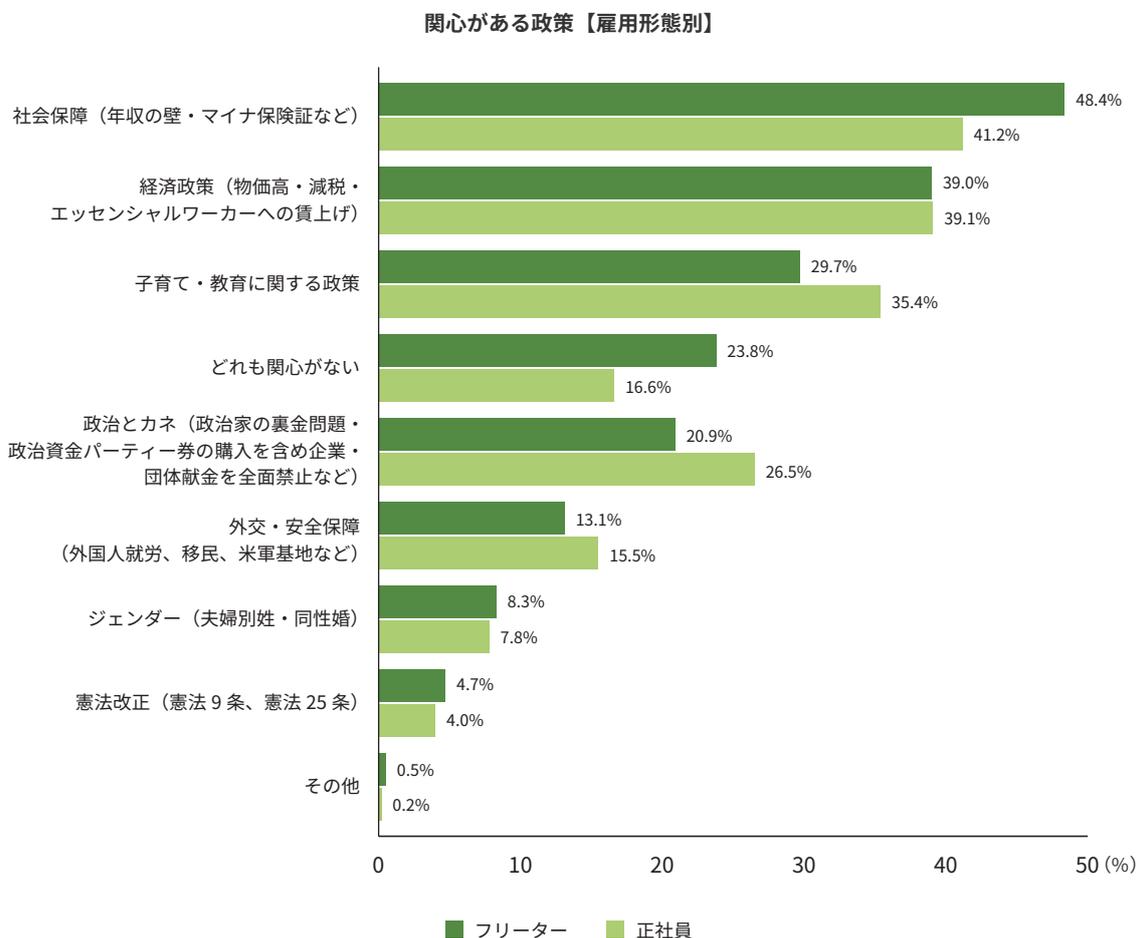
政策がキャリアに影響があると思うか【正社員】



7-4. 関心がある政策

関心がある政策について調査したところ、フリーター・正社員共に「社会保障」への関心が最も高く、約5割という結果になりました。次いで「経済政策」への関心が高く、こちらも約4割の人が関心を持っていることが分かります。

全体を通して、フリーターと正社員の間で関心の高さに大きな差は見られませんでした。が、「子育て・教育に関する政策」「政治とカネ」については、正社員のほうがフリーターより関心が高い傾向があります。



回答者数：フリーター 1,000人、正社員1,000人（3つまで回答）

若者しごと白書 2025

<調査概要>

調査目的：18歳～29歳のフリーター・正社員の働き方やキャリア観の把握

調査期間：2024/11/11～2024/11/20

調査方法：インターネット調査

実査委託先：楽天インサイト株式会社

調査対象：18歳～29歳 男女

2024年11月時点で満18歳～29歳のフリーター・正社員男女

集計対象：2,000人

<集計対象男女内訳>

高卒フリーター 男性：101人

高卒フリーター 女性：437人

高卒正社員 男性：250人

高卒正社員 女性：250人

大卒フリーター 男性：110人

大卒フリーター 女性：352人

大卒正社員 男性：250人

大卒正社員 女性：250人

発行年：2025年2月

発行：レバレッジズ株式会社 ハタラクティブ